

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（国の行政機関）

資料7

令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

行政機関名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
総務省（消防庁）	こども震が関見学デー	令和5年8月2日	令和5年8月3日	総務省1階・地下	こども震が関見学デーで、地震や地震火災への対策の解説資料及び東京消防庁が保有する過去の地震被害の写真を展示するとともに、公益財団法人 東京防災救急協会作成の関東大震災関係の動画を放映した。
	防火防災キャンペーン	令和5年9月1日	令和5年9月21日	全国の消防本部各地域	毎年、9月の老人の日・敬老の日の時期に防火防災キャンペーンを実施し、高齢者やその家族に対して火災予防の注意喚起を行っている。この機会に合わせて関東大震災100周年であることを踏まえ、地震火災対策についても、普及・啓発を実施。
	ぼうさいこくたい2023	令和5年9月17日	令和5年9月18日	横浜国立大学	防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）2023において公益財団法人 日本消防協会が主催したシンポジウム「横浜の関東大震災体験、そして今後の災害対応」に協力団体として参加した。パネリストとして消防庁国民保護・防災部長が参加し、関東大震災の被害や復興に伴うまちづくり、地域防災力の向上などの今後の大災害への備え等について議論した。
	令和5年秋季全国火災予防運動	令和5年11月9日	令和5年11月15日	全国の消防本部各地域	毎年、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、実施している火災予防運動の際に、関東大震災から100年であることも含め、地震火災対策について、普及・啓発を実施。テレビアニメ「め組の大吾 救国のオレンジ」の声優とタイアップしたポスターに関東大震災100年のロゴを入れて周知した。
	全国消防技術者会議の特別講演	令和5年11月16日	令和5年11月17日	三鷹市公会堂（光のホール）	全国の消防の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、他の発表者や聴講者と討論を行う場として開催している全国消防技術者会議において、「関東大震災でなぜ東京は最大の被害を出したのか？一大火災の原因とその後」と題した特別講演が名古屋大学減災連携研究センターの武村雅之特任教授により行われた。
総務省（消防庁） ※各地域ブロック合同訓練 実行委員会	緊急消防援助隊地域ブロック合同訓練	令和5年10月28日	令和5年11月26日	令和5年度開催地（全国6箇所実施。岩手県、山梨県、石川県、和歌山県、岡山県、福岡県）	緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を図るため、大規模な地震等により、建物倒壊、土砂災害、火災、交通事故等が多発的に発生したことを想定した救助救出訓練を全国6が所実施する。※10/28～11/26のうち、各箇所2日間実施
内閣府（防災担当）	防災とボランティアのつどい	令和5年1月22日	—	全社協・瀬尾ホール（オンライン配信あり）	関東大震災発生時の救護活動を学び、現代に通じる被災者支援の課題や現在の災害ボランティア活動の広がりについて考える。
	国際復興フォーラム2023	令和5年1月27日	—	神戸国際会議場3階 国際会議室301（ハイブリッド開催）	「より良い復興（Build Back Better）と長期的な復興の成果：強靱で持続可能な未来への目標」をテーマに、100年前の関東大震災の教訓をはじめ、世界各地の大規模災害からの長期的な復興経験の教訓や、より良い長期的な復興成果を得るための優良事例等について、世界各国の防災関係者との議論を通じて世界へ発信。

内閣府（防災担当）	「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）第6回マッチングセミナー	令和5年2月10日 令和5年6月1日	—	仙台市内（ハイブリッド開催） 高知市内（ハイブリッド開催）	災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場である「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）を設置し、常設するウェブサイトを経営するとともに、地方公共団体等と民間企業等が交流する場となるセミナーを開催。
	アジア防災世界会議2022	令和5年3月10日	令和5年3月12日	仙台市内（ハイブリッド開催）	ADRCは、2023年3月10日から12日にかけて、2022年度のアジア防災会議（ACDR2022）「WHAT IS NEXT? -過去に学び、未来に備える-」を、仙台市で開催（3月10日の会合はメンバー国およびアドバイザー国対象。主要会議は3月11日から開催）。本会議では、関東大震災に関するスペシャルセッションのほか、「大規模災害とその対策」、「仙台防災枠組の取組みにおけるデータ連携の拡大— GLIDE (GLobal IDentifier Number)の利用促進」、「衛星を活用した防災・危機管理情報の提供」といったセッションを実施。
	第8回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい2023）	令和5年9月17日	令和5年9月18日	横浜国立大学	関東大震災の震源地でもあった神奈川県（会場：横浜国立大学）にて開催し、大会を通じて大震災の記憶の継承・防災意識の啓発を実施。
内閣府（防災担当）	令和5年度「津波防災の日」スペシャルイベント	令和5年11月5日	—	オンライン配信	令和5年11月5日（日）の「津波防災の日」「世界津波の日」に、「関東大震災から100年、これまでの災害経験を踏まえた津波の備え」をテーマとして、令和5年度「津波防災の日」スペシャルイベントを開催。
文部科学省 ※国立研究開発法人海洋研究開発機構	日本地震学会2023横浜	令和5年11月3日	—	はまぎんホール ヴィアマール	日本地震学会及び日本地震工学会主催の当該イベントにおいて、パネルディスカッションのコーディネーターを務め、「切迫する首都直下地震にどう備えるか—一産学官の取り組み—」について議論。
文部科学省 ※東京国立博物館	特集 関東大震災と東京国立博物館	令和5年7月11日	令和5年9月3日	東京国立博物館本館特別2室	関東大震災当時の様子を伝え残す歴史資料や、実際に被災した収蔵品などを通して、東京帝室博物館における被害の実態を振り返る。
文部科学省 ※独立行政法人国立文化財機構	講演会「大災害時代の文化財防災 過去・現在・未来—関東大震災100年—」	令和5年8月20日	—	東京国立博物館・平成館大講堂	災害大国日本において歴史と文化は守れるのか？ 本講演会では関東大震災から100年を迎えるにあたり、災害復興の過去を振り返り、今後の文化財防災を展望。定員350名（参加費無料・事前登録制）
農林水産省	関東大震災から100年～非常食の歴史と進化～	令和5年7月31日	令和5年8月10日	農林水産省北別館1階「消費者の部屋」	災害への備えを考えるきっかけとなるよう、関東大震災における食料事情の振り返り、軍用食にはじまり現在は宇宙食にまで進化を遂げた非常食の歴史と進化を紹介。また、食品の家庭備蓄に無理なく取り組むためのガイドや備蓄におすすめの長期保存可能な食品を展示し、災害時の即席めん活用術アレンジレシピの紹介等を実施。
	こども震が関見学ワークショップ 関東大震災100年関連イベント ～非常食をおいしくアレンジ～	令和5年8月2日	—	農林水産省本館7階講堂	災害時の非常食について、工夫しておいしく食べることを通じて日頃から備える大切さを学ぶ。 ・トマトスープでアルファ化米のリゾットをつくろう！ ・栄養満点 アレンジレシビカップめんをつくろう！
国土交通省	関東大震災ゆかりの地を巡るツアー	令和5年7月22日	令和5年7月23日	都立横網町公園、神田明神、東京大学地震研究所等の都内各所	関東大震災ゆかりの地をめぐる、被害状況、災害から得られた教訓、現在の東京をつくりあげた復興の軌跡から、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に備えるについて皆様とともに考えるツアーを開催。
	関東大震災特別企画展	令和5年8月26日	令和5年8月28日	国営東京臨海広域防災公園	国営東京臨海広域防災公園にて関東大震災の被害状況や、復旧、復興の歴史、防災に関する新たな技術の展示などを通じ、巨大地震に対するさらなる備えについて今一度考えてもらうための特別企画展を実施。

国土交通省	関東大震災100年シンポジウム～関東大震災から学ぶ今後の都市・インフラ整備～	令和5年8月28日	—	東京ビッグサイト国際会議場	関東大震災で何が起きたのかを振り返るとともに、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に対して、行政、民間企業、市民等が連携した今後のまちづくりやインフラ整備をいかにしていくべきかを考えるシンポジウムを開催。
国土交通省 ※国土技術政策総合研究所	土木の日2023一般公開	令和5年11月18日	—	・国土交通省国土技術政策総合研究所 ・国立研究開発法人土木研究所	漢数字の「十一」と「十八」を組み合わせると「土木」。今年も「土木の日」関連行事として、研究施設等の一般公開を国立研究開発法人土木研究所と共催し、一般公開では、各研究分野の地震対策に関する取組等をご紹介します。
国土交通省 ※国土地理院	国土地理院報告会	令和5年6月1日	—	日経ホール（東京：大手町）	関東大震災100年となる令和5年度は「関東大震災100年－国土地理院の防災・災害対応と最新の取組－」をメインテーマに、国土地理院からの取組報告のほか、外部講師による特別講演を実施。
	くらしと測量・地図展	令和5年6月7日	令和5年6月9日	新宿駅西口広場イベントコーナー	毎年「測量の日」関連イベントとして実施している【くらしと測量・地図展】において、関東大震災100年となる令和5年度は、関東大震災に関するパネルを展示。
国土交通省 ※国土地理院	企画展「関東大震災から100年」-地図に残る地殻変動と被災状況-	令和5年7月19日	令和5年10月1日	地図と測量の科学館	震災応急測図原図、関東震災地垂直変動図など、関東大震災による地殻変動や被災状況を記した地図を展示。
	第240回地震予知連絡会	令和5年8月31日	—	関東地方測量部	重点検討課題として「関東地震」に関連した議論を実施。
国土交通省 ※関東地方整備局	関東大震災100年の取り組み	令和5年1月16日	令和5年9月30日	茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県	首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、関東大震災100年にあたり、「連携・実践・わがこと化」の取り組み（シンポジウム、パネル展など）を各地域で実施。
	令和5年度首都直下地震防災訓練	令和5年8月3日	—	東扇島地区基幹的広域防災拠点（川崎市川崎区東扇島東公園）	・活動要員及び作業員参集：ヘリコプター・業務艇による要員参集 ・帰宅困難者輸送：船舶による帰宅困難者の輸送 ・緊急確保航路啓開：漂流物の回収・撤去、海底障害物探査など ・緊急支援物資海上輸送：船舶による緊急支援物資の海上輸送
	令和5年度首都直下地震防災訓練（道路啓開訓練）	令和5年8月3日	—	東京臨海広域防災公園（有明の丘基幹的広域防災拠点施設）	関東大震災100年の取組として、首都直下地震対応訓練（道路啓開訓練）を実施。首都直下地震に備え、道路啓開計画の八方向作戦の実効性を高めるため、新技術・多様な手段により被災状況や交通状況を迅速かつ確実に把握・共有するとともに、関係機関と連携し、道路啓開作業を行う実動訓練。
国土交通省 ※関東地方整備局	船でめぐる港の関東大震災	令和5年11月18日	—	神奈川県	関東大震災ゆかりの地をめぐり、被害状況、災害から得られた教訓、現在の神奈川をつくりあげた復興の軌跡から、逼迫する首都直下地震等の巨大地震に備えについて皆様とともに考えるツアーを開催。
国土交通省 ※都市防災推進協議会	令和5年度都市防災推進協議会研修会～関東大震災100年記念～	令和5年11月21日	令和5年11月22日	岐阜市役所他（オンライン配信あり）	都市防災推進協議会会員向けに、1日目講演会、2日目現地見学を実施。（今回のみ、1日目の講演会に、非会員の地方公共団体もオンラインにて参加可能）
気象庁	～関東大震災から100年～ 知って備えよう 過去の災害から学ぶ	令和5年7月7日	令和5年11月30日	気象庁本庁2階気象科学館	今年も関東大震災から100年。過去の災害から学び、改めて地震・津波への備えを再確認いただくためのポスター展。小学生のお子さんでも一人で読めるような分かりやすい内容となっている。
	親と子の地震実験教室（地震調査研究推進本部と連携実施）	令和5年8月24日	—	横浜地方気象台	小学生以上を対象に、お菓子等を使った実験を通じて地震による揺れや耐震等を楽しんで学ぶ実験教室を開催。

気象庁	「関東大震災から100年」特別展示	令和5年9月1日	未定	横浜地方気象台	関東大震災から100年に関する観測記録や被害写真等の特別展示「あの日を忘れずにその日に備える」及び防災専門図書館と連携した展示を公開。
-----	-----------------------------------	----------	----	---------	---

2. 今後の予定

行政機関名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
内閣府（防災担当）	「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）第3回マッチングセミナー	令和5年12月1日	—	静岡市内（ハイブリッド開催）	災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場である「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）を設置し、常設するウェブサイトを運営するとともに、地方公共団体等と民間企業等が交流する場となるセミナーを開催。
国土交通省	令和5年度復旧・復興まちづくりサポーター連絡会議—関東大震災から100年 大規模災害に備えるための復興まちづくりイメージトレーニング	令和6年1月17日	令和6年1月17日	三田共用会議所	地方公共団体の復興事前準備の取組みの推進を図るため、「復興まちづくりイメージトレーニング」の必要性についての講演及び、実施方法を学ぶためのグループワークを実施する。
国土交通省 ※国土技術政策総合研究所	令和5年度国総研講演会	令和5年12月14日	—	東京証券会館（オンライン配信）	近年激甚化・頻発化している地震災害への対策について、国総研が取り組んでいる最新の研究を紹介する。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（国の行政機関）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

行政機関名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
総務省（消防庁）	「関東大震災100年」特設ページ	令和5年7月5日～	関東大震災の概要をはじめ、地震発生時に取るべき行動についての啓発資料、地震火災対策の啓発資料、自主防災組織や消防団等の防災に関する組織に関する情報、火災旋風の実験映像等を掲載。
	広報誌「消防の動き」629号	令和5年9月1日	関東大震災100年に関する消防庁の取組等を掲載。
	消防大学の機関誌「消防研修」第113号	令和5年9月	関東大震災100年をテーマに有識者による地震対策等に関する寄稿、国や地方公共団体の取組等を掲載。
内閣府（防災担当）	「関東大震災100年」特設ページ	令和5年1月20日～	関東大震災の関連資料や報告書等を掲載するとともに、行政機関や各種団体等による関東大震災100年関連行事の予定等を集約・発信する。また、関連する行事等において広く使用いただけるよう、関東大震災100年の共通ロゴマークも設定し掲載。
	広報誌「ぼうさい」第106号	令和5年3月17日	2023（令和5）年、広報誌「ぼうさい」第106号～第108号の特集記事では、100年前に発生した関東大震災に関して、様々な角度からスポットを当てて、「あの時その場所で何が起きていたか」を振り返る。 「東京の大火災」の印象が強い関東大震災であるが、揺れによる倒壊、液状化、津波、土砂災害など、様々な被害を広範囲にわたって記録しており、第106号ではこうした「火災以外の被害」にスポットを当て、関東大震災を振り返る。
	広報誌「ぼうさい」第107号	令和5年7月7日	約10万5,000人の犠牲者のうち9割が焼死であったことからわかるように、被害を大きくしたのは同時多発的に発生した火災と、炎がもたらす火災旋風だった。第2回では当時東京や横浜に甚大な被害をもたらした火災を中心に、「あの時その場所で何があったのか」を振り返る。

内閣府（防災担当）	広報誌「ぼうさい」第108号	令和5年11月20日	約10万5,000人も犠牲者を記録した震災から被災地である東京や横浜はどのように復興したのか。そして関東大震災の教訓はその後のまちづくりにどのように生かされたのか。その流れを振り返り、現在の防災まちづくりの進展と課題も含めて整理。
文部科学省	広報誌「Blue Earth」にて特集	令和5年3月発行	大正時代に首都圏を襲ったマグニチュード（M）7.9の巨大地震による関東大震災は、死者・行方不明者10万5,000人以上と、日本の自然災害史上、最多の犠牲者を出した。首都圏を襲う次の大地震はいつ起きるのか。関東を襲う大地震・津波についての理解と備えはどこまで進んでいるのか。
国土交通省	ウェブマガジン「Grasp」	令和5年9-10月	世界有数の地震多発国・日本。1923年9月1日に起きた「関東大震災」から100年目となる今年、来るべき大震災から命を守るために、今私たちができること、すべきことは何かを、専門家や被災経験者の方のインタビューを通して考える。
国土交通省 ※国土技術政策総合研究所	「関東大震災100年に関連した国総研の取組」特設ページ	令和5年7月10日～	関東大震災100年関連して国総研が主催・参加する行事の情報と、地震対策に関する国総研の取組を、当ページに集約して掲載。
国土交通省 ※国土地理院	関東大震災特設ページ	令和5年5月9日～	震災応急測図原図、関東震災地垂直変動図など、関東大震災による地殻変動や被災状況を記した地図の閲覧や「関東大震災100年—国土地理院の防災・災害対応と最新の取組—」をメインテーマとする国土地理院報告会等を紹介。
国土交通省 ※関東地方整備局	関東大震災100年の取り組み	令和5年5月15日～	首都直下地震に切迫性が指摘されるなか、関東大震災100年にあたり、管内各地で行う「連携・実践・わがこと化」の取り組み（シンポジウム、パネル展など）の情報を掲載。
気象庁	「関東大震災から100年」特設サイト	令和5年1月4日～	関東大震災を振り返るとともに、今後の地震に適切に備えていただくために必要な防災知識等に関する情報を掲載。

気象庁	特設サイト「関東地震から100年」～あの日を忘れずに、その日に備える～（横浜地方気象台）	令和5年1月4日～	特設サイト開設。
	「関東大震災から100年」子ども向けサイト（東京管区気象台）	令和5年5月30日～	100年前に起きた関東大震災がどんな地震だったのか、それによってどんなことが関東に起きたのかを、子どもが学べるサイト。地震が起きたらどうすればよいかも紹介している。
	気象業務はいま2023	令和5年6月	気象業務の全体像について広く知っていただくことを目的として毎年刊行している「気象業務はいま」において、関東大震災から100年を迎えることから、「気象庁における巨大地震対策」について紹介。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（国の行政機関）

令和5年11月30日現在

【事業等】

1. 実施済み及び実施中

行政機関名	事業名	実施時期	概要
内閣府（防災担当）	「災害への備え」コラボレーション事業	令和5年4月28日～	<ul style="list-style-type: none">・内閣府と民間企業等がコラボレーションすることにより、平素の事業活動を通じた広汎な普及啓発を行い、国民・家庭・事業所のレベルでの防災意識を高め、日常生活における「災害への備え」を促進。・令和5年9月4日までに賛同申請をし、手続きが完了した企業・団体を紹介。・「ぼうさいこくたい」に出展し、賛同企業と「災害への備え」に関するパネルディスカッションを実施。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（地方公共団体）

令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

	自治体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
茨城県	茨城県	いばらき学ぼうさい	令和5年7月8日	—	イオンモールつくば	近年頻発化している自然災害への関心や災害へ備えの重要性など、県民の防災意識向上を図る。同イベント内で関東大震災関連パネルを展示。
埼玉県	埼玉県 ※埼玉県議会	シェイクアウト埼玉～県内一斉防災訓練～	令和5年9月1日	—	埼玉県内全域	多くの県民・企業・団体等に呼びかけ、実施日時又は防災週間（8/30～9/5）に一斉にシェイクアウト訓練を実施。594,476人が参加登録。
埼玉県	埼玉県	関東大震災から100年展	令和5年9月1日	令和5年12月28日	埼玉県防災学習センター	来館者が防災を学ぶきっかけとして、以下の取組を実施する。センター所蔵の写真パネルを展示、DVDの上映、大学生による関東大震災パネル展。
埼玉県	幸手市	郷土資料館令和5年度企画展 あれから100年 関東大震災と幸手	令和5年9月1日	令和5年10月9日	幸手市郷土資料館	関東大震災発生当時の記録写真や資料を展示し、この地震がどのような災害で市域にどのような被害をもたらしたかについて紹介。
埼玉県	志木市	第44回九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）令和5年度埼玉県・志木市民総合防災訓練	令和5年8月27日	—	志木市役所、いろは親水公園等	会場内に関東大震災当時の写真を展示。
埼玉県	白岡市	シェイクアウト訓練	令和5年9月1日	—	各自その時いる場所	令和5年9月1日11時58分に、ご家庭や学校、職場などで机やテーブルに潜ったり、前かがみの姿勢で頭を手で押さえたりして、身の安全を確保する「シェイクアウト訓練」を実施。
埼玉県	草加市	関東大震災から100年 防災講演会 「命を守るためにすべきこと 関東大震災から100年 震災を知り 対策を学ぶ」	令和5年8月5日	—	草加市中央公民館（ホール）	<p>専門家から災害や防災の知識が学べる講演会。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東大震災の発災直後の状況、被害状況 ・現状起こると危惧されている大地震（首都直下型地震・南海トラフ）の危険性・被害想定 ・大地震から身を守るための防災、発災後いかに被害を抑えるかの減災について
埼玉県	草加市	草加市一斉シェイクアウト訓練	令和5年9月1日	—	草加市内全域	個人・団体に対してシェイクアウト訓練実施の呼びかけを実施。
埼玉県	所沢市 ※教育委員会	関東大震災百年～その時所沢は～	令和5年8月15日	令和5年9月24日	所沢市生涯学習推進センター企画展示室	当時の人々はどのように考えて動き、災害に対応したのか、所沢の震災の記憶を紹介。なお、展示には、さいたま市の栄東中学・高等学校理科研究部にも協力いただき、研究成果を紹介。
埼玉県	深谷市	関東大震災100年 パネル展	令和5年8月21日	令和5年9月1日	深谷市役所1階多目的ホール	関東大震災の被害状況等を紹介するとともに、地震に対する備えについてハザードマップ等を活用して周知を行い、防災意識の高揚を図る。
			令和5年9月9日	令和5年9月10日	アリオ深谷店 1階	
埼玉県	本庄市	関東大震災パネル展示	令和5年9月1日	令和5年10月1日	本庄市立図書館	関東大震災から100年を迎えるにあたり、過去から学び、未来へ継承していく機会として、市立図書館でパネル展示と地震や防災についての書籍、防災グッズの展示を実施。
埼玉県	八潮市	展示「関東大震災～八潮地域に残る記録～」	令和5年7月17日	令和5年10月1日	八潮市立資料館	常設展に関東大震災関連の資料を展示。

埼玉県	八潮市	関東大震災から100年「今から取り組もう！防災講座」	令和5年10月14日	—	りら一と八幡 研修室2	9月1日に関東大震災から100年の節目を迎えるため、日頃から防災への備えなど防災力を高めるポイントについて学ぶ「防災講座」を開催。
埼玉県	寄居町	荒川の水を利用して災害に備えるー関東大震災から100年ー	令和5年9月3日	—	県立川の博物館	県立川の博物館で行われるイベント、「荒川の水を利用して災害に備える関東大震災から100年-」にて炊き出し等を実施。
千葉県	千葉県	千葉県立中央博物館 令和5年度トピックス展「関東大震災から100年ー災害の記憶を未来に伝える」	令和5年8月1日 令和5年9月30日 令和5年10月28日 令和5年11月24日 令和5年12月16日	令和5年9月23日 令和5年10月22日 令和5年11月19日 令和5年11月30日 令和6年1月7日	県立中央博物館 県立中央図書館 県立西部図書館 富津市役所 県立現代産業科学館	令和5（2023）年は、関東大震災（大正12（1923）年）から100年を迎える年であることから、当震災に関する関心も高まるものと予想される。そこで、改めて当地震の科学的性質や被害の様子等を紹介する展示を実施し、県民に来るべき次の同様な地震に対する備えの意識を持っていただくことを目的とする。
千葉県	千葉県	パネル展示	令和5年9月1日	令和5年9月5日	千葉県庁本庁舎1階廊下	関東大震災の被害状況等をまとめたパネルの展示や、防災啓発パンフレット、地震が起きた時の行動について特集した広報誌（ちば県民だより8月号）の配架を実施。
千葉県	千葉県	令和5年度千葉県文書館企画展「日記のなかの関東大震災」	令和5年9月1日	令和6年1月30日	千葉県文書館	100年前の9月1日、関東大震災が発生した。被害の大小の差はあれど、その時その場所で、大地震を確かに体験した人たちがいる。個人の日記は、時差もなければ編集もされていない、個々の大震災の記録である。個人の日記から彼らを感じたことや、触れた情報、行動を追体験するとともに、その他災害に関わる収蔵資料などを紹介。
千葉県	市川市	防災講演会2023	令和5年9月3日	—	メディアパーク市川2階 グリーンスタジオ	本講演会を通じて、災害時のトイレ確保の重要性を市民に認識してもらい、家庭での備蓄のきっかけとなることを目的とする。
千葉県	市川市	夏休み親子防災パーク	令和5年8月26日	—	市川市役所 第1庁舎	こどもから大人までの市民に防災・減災に関心を持ってもらうことを目的として実施。
千葉県	市川市	パネル展示	令和5年8月25日	令和5年9月5日	市川市役所 第1庁舎	関東大震災の被害状況等を紹介するパネルの展示や、防災啓発グッズの展示、パンフレット配架を実施。
千葉県	柏市	柏市総合防災訓練	令和5年9月30日	—	柏市立柏の葉中学校	関東大震災が発生した9月1日またはその前後で、地域住民を含めた総合防災訓練を実施。その他、会場内で震災に関する広報や各団体からの展示を実施。
千葉県	鎌ヶ谷市 ※鎌ヶ谷市郷土資料館	第27回ミニ展示「災害と流行病（はやりやまい）の歴史と民俗in鎌ヶ谷～教訓を忘れないために～」	令和5年7月15日	令和5年10月1日	鎌ヶ谷市郷土資料館 2階 展示室	近世から近・現代にかけて鎌ヶ谷市域が関わった災害と流行病についての歴史資料と伝承された民俗資料を展示。
千葉県	館山市 ※館山市教育委員会博物館	企画展 千葉県誕生150周年記念・関東大震災100年「関東大震災と館山」	令和5年7月29日	令和5年10月9日	館山市立博物館	千葉県誕生150周年および関東大震災発生100年となる節目に合わせ、甚大な被害を受けた館山市とその周辺に残る資料や史跡を紹介。
千葉県	館山市 ※館山市教育委員会 公民館・博物館	公民館・博物館連携事業 ふるさと講座プラス「関東大震災と館山」	令和5年10月1日	—	千葉県南総文化ホール	企画展「関東大震災と館山」に関連した講演会、防災講座、現地学習を実施。
千葉県	千葉市	第44回九都県市合同防災訓練千葉市会場	令和5年8月27日	—	千葉市役所	大地震による甚大な被害の発生を想定し、自助・共助・公助の理念のもと、市民、防災関係機関及び市が緊密な連携をとり、実践的な総合防災訓練を実施。これにより、本市の災害対応能力の向上及び防災体制の充実強化を図るとともに、市民の防災減災意識の高揚及び防災行動力の向上を図る。

千葉県	千葉市	防災パネル展	令和5年9月17日 令和5年10月22日	令和5年9月20日 令和5年10月27日	千葉市生涯学習センター 千葉市役所	自助・共助の啓発を目的とした防災パネル展の開催。関東大震災の被害を改めて認識し地震に対する備えを啓発する。
千葉県	千葉市	防災リーダー研修会	令和5年10月25日	—	千葉市役所	地域の防災リーダーの育成を目的とした防災講演会の開催。関東大震災の被害を改めて認識し地震に対する備えを啓発する。
千葉県	銚子市	銚子市防災フェス	令和5年9月3日	—	イオンモール銚子	銚子市防災フェス（関東大震災100年防災パネル展、特殊車両展示、煙体験、防火服・警察制服体験など）を実施。* 関東大震災100年防災パネル展 8月26日～9月3日
千葉県	船橋市	防災パネル展	令和5年10月13日	令和5年10月19日	市役所本庁舎	関東大震災発生時の写真や被害情報をまとめたパネルを展示し、大震災の被害を改めて認識し、地震に対する備えを啓発。
東京都	東京都	「令和4年度都市の事前復興シンポジウム」	令和5年1月16日	—	都庁第一本庁舎5階大会議場	「関東大震災100年 東京の事前復興の取組～大震災からの教訓と、たゆまない東京の復興体制の強化～」をテーマに開催。
東京都	東京都	「江戸・東京を襲った大地震の実像」	令和5年1月19日	令和5年2月14日	東京都公文書館	安政大地震及び関東大震災関係のパネル展示。
東京都	東京都	「土砂災害防止に関する絵画・作文」	令和5年6月1日	令和5年9月15日	(作品募集のため実施場所なし)	国土交通省及び都道府県では、土砂災害の防止及び被害の軽減に関して国民の関心と理解を深めるため、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定めている。東京都では、本月間にあわせた普及活動の一環として、都内在住・在学の小・中学生を対象に、土砂災害防止に関する絵画・作文を募集。
東京都	東京都	復興まちづくり展示会（第1回）	令和5年6月12日	令和5年6月16日	東京都庁第二本庁舎1階	災害に強いまちづくり等の理解促進を図るため、「東京復興のあゆみ」をテーマとし、震災当時や復興後の写真を中心とした展示会を開催。
東京都	東京都	関東大震災100年出前講座	令和5年7月	令和6年2月	—	防災専門家を派遣し、関東大震災の被害の様相やそこから得た教訓を学ぶ出前講座。
東京都	東京都	マンション防災セミナー	令和5年7月	令和6年2月	—	災害時に想定されるエレベーターやトイレの利用停止など、マンション特有の被害に対する備えを学ぶセミナー。
東京都	東京都	土木技術講習会	令和5年7月7日	—	東京都庁第一本庁舎5階大会議場	関東大震災から100年という節目の年に、関東大震災から復興がどのように行われ、我々土木技術者はそこから何を受け継ぐべきかについて、有識者を招き講演。（東京都及び都内区市町村技術系職員を対象とした研修だが、一般の参加も可）
東京都	東京都	復興まちづくり展示会（第2回）	令和5年7月10日	令和5年7月21日	東京都庁第二本庁舎1階	災害に強いまちづくり等の理解促進を図るため、「東京復興のあゆみ」をテーマとし、震災当時や復興後の写真を中心とした展示会を開催。
東京都	東京都	河川愛護月間関連行事「東京の川を考えるシンポジウム」	令和5年7月25日	—	新宿区立区民ホール（角筈区民ホール）	身近な東京の川について知識を深めてもらうため、「未来の東京に向けた水辺整備」をテーマとしたシンポジウムを開催。
東京都	東京都	関東大震災100年イベント	令和5年8月26日	—	東京都庁（一部オンライン配信あり）	テーマ「関東大震災100年の節目に学ぶこれからの防災」。いつ起きてもおかしくない大規模な災害への備えや防災の重要性を改めて考える機会として、大人から子どもまで楽しみながら防災について学ぶことができるイベント。展示：参加・体験型の企画及び警察・消防・自衛隊による実演。シンポジウム：座談会、有識者の基調講演及びパネルディスカッション。

東京都	東京都	隅田川橋梁群のライトアップ	令和5年9月1日	—	隅田川橋梁群 全10橋（白鬚橋、吾妻橋、駒形橋、厩橋、蔵前橋、清洲橋、永代橋、佃大橋、勝鬨橋、築地大橋）	各橋の欄干カラー照明（築地大橋ではアーチカラー照明）について、橋梁群で統一されたカラー演出（緑色）を実施。
東京都	東京都	関東大震災 100 年防災まちづくり展示会 ～これまでの 100 年、これからの 100 年～	令和5年9月1日	令和5年9月2日	新宿駅西口広場（地下）イベントコーナー	関東大震災の概要、関東大震災からの復興などについて写真や資料を展示するほか、100 年先を見据えたまちづくりに関する展示、子ども向けのイベントスペースなどを用意した防災まちづくり展示会を開催する。
東京都	東京都	令和5年度東京都・東村山市合同総合防災訓練	令和5年9月1日	令和5年9月3日	東村山市役所周辺	関東大震災の経験を踏まえ、防災DXを活用した救出救助訓練や、自助・共助の防災行動を体験する市民参加型訓練を展開する。あわせて、関東大震災100年展示を行う。
東京都	東京都	河川愛護月間関連行事「川のパネル展」	令和5年9月5日	令和5年9月7日	新宿駅西口広場	東京都が取り組む河川事業の紹介、関東大震災と東京の河川、川のフォトコンテスト、立体模型の展示、VRコンテンツサイト「河川施設360°バーチャルツアー」の展示及び行事PR映像の放映を行う。
東京都	東京都	子供向け防災体験	令和5年9月5日	—	—	復興訓練などの防災体験を通じて将来を担う子供達がまちづくりを考える機会を創出するとともに、地域と大学が一体となった防災をはじめとする地域活動の活性化が促進されることを目的とし、地域と大学が連携したまちづくりの取組を実施中の新宿区戸塚地区において、都がコーディネート役として学びの場を創出。
東京都	東京都 ※指定管理者アメニス 東部地区グループ	防災フェア	令和5年10月21日	—	宇喜田公園	葛西消防署の消防車の展示と放水訓練の実演や園内の防災施設の紹介を実施。
東京都	東京都 ※指定管理者アメニス 東部地区グループ	防災フェスタ	令和5年11月23日	—	亀戸中央公園	起震車、応急処置、炊き出し、初期消火等の訓練を実施。
東京都	東京都 ※横網町公園管理所・ 東京臨海広域防災公園 管理センター	夏休みぼうさいスタンプラリー	令和5年7月22日	令和5年9月10日	横網町公園復興記念館、東京臨海広域防災公園そなエリア東京1Fエントランス	夏休みに関東大震災に深く関係のある横網町公園と、防災体験施設のある東京臨海広域防災公園の2つの公園をめぐるスタンプラリーの開催。
東京都	東京都 ※東京臨海広域防災公園 管理センター	防災の日パネル展示	令和5年8月1日	令和5年8月31日	東京臨海広域防災公園そなエリア東京	関東大震災の被害、復興の取り組みを紹介したパネル展示
東京都	東京都 ※東京臨海広域防災公園	夏休み親子特別企画 国の防災施設の役割を知ろう～都市公園制度制定150年 関東大震災100年～	令和5年8月5日	—	東京臨海広域防災公園 そなエリア館内	公園の防災機能について関東大震災を振り返りながら学びつつ、地震発生後の街並みのジオラマを巡り未来へのそなえを親子で考える。ラストは、実際に災害時指揮をとる普段は入ることのできない、オペレーションルームに特別に立ち入り国の防災施設の役割を学ぶ。
東京都	東京都 ※首都防災ウィーク実行委員会	第11回首都防災ウィーク	令和5年8月20日	令和5年9月10日	都立横網町公園	過去の歴史に学び、迫りくる首都直下地震や巨大災害の脅威を伝え、防災の担い手の拡大をめざし、竹明かり点灯式や防災カフェなどのイベントのほか「防災フォーラム」を中林一樹先生の基調講演、浅野史郎元宮城県知事をコーディネーターに行うパネルディスカッションを開催する。

東京都	東京都 ※公益財団法人東京都公園協会	関東大震災100年 いざ！防災	令和5年9月1日	令和5年9月3日	東京都公園協会が管理運営する都立公園、庭園、霊園等計47箇所※	関東大震災の被害と避難場所の役割、大地震への備え等を紹介したパネルの展示等。 ※（代々木公園、砧公園、駒沢オリンピック公園、善福寺川緑地、城北中央公園、光が丘公園、木場公園、東白鬚公園、汐入公園、舎人公園、水元公園、篠崎公園、葛西臨海公園、小金井公園、武蔵野中央公園、府中の森公園、武蔵野の森公園、東村山中央公園、東大和南公園、秋留台公園、神代植物公園、日比谷公園、芝公園、林試の森公園、蘆花恒春園、祖師谷公園、戸山公園、善福寺公園、高井戸公園、浮間公園、赤塚公園、石神井公園、大泉中央公園、練馬城址公園、桜ヶ丘公園、小石川後樂園、六義園、清澄庭園、旧古河庭園、雑司ヶ谷公園、青山公園、青山公園、谷中公園、染井公園、八柱公園、多磨公園、小平公園、瑞江葬儀所）
東京都	東京都 ※指定管理者アメニス 東部地区グループ	公園と防災	令和5年9月1日	令和5年9月8日	都市部の公園・東部（猿江恩賜公園、亀戸中央公園、尾久の原公園、東綾瀬公園、中川公園、大島小松川公園、宇喜田公園）	公園内の防災設備の点検・紹介パネル展示・体験会等を実施。
東京都	足立区	令和5年度足立区総合防災訓練	令和5年11月12日	—	都立舎人公園等	関東大震災から100年の節目を迎え、首都直下地震を想定災害とした総合防災訓練を実施。本庁舎、避難所、医療救護所、動物救護所等で実施する「訓練部門」と、舎人公園で防災に機関による普及啓発活動を行う「周知・啓発部門」の2部門で実施。
東京都	荒川区	関東大震災100年「吉村昭と関東大震災—明日へつなぐ記録と記憶—」	令和5年6月16日	令和5年10月18日	吉村昭記念文学館（ゆいの森あらかわ内）	小説家吉村昭（荒川区出身）が証言を書き留めた取材ノートや、執筆時の参考文献と共に、関東大震災発生時の被害状況を伝える映像や写真などを展示。
東京都	大田区	防災週間フェア	令和5年8月30日	令和5年9月1日	—	毎年、防災週間の期間に防災に関する展示ブースを設けており、今年度は地震をテーマに、備蓄品等の展示を実施。また、ポスターを作成し、区設掲示板・HP・Twitter等で普及啓発を実施。
東京都	葛飾区	避難所運営訓練	令和5年6月	令和6年3月	区内の第一順位避難所77か所すべて	令和5.6年度で区内の第一順位避難所77か所すべてにおいて避難所運営訓練を行う。災害時に避難所運営組織と学校、区が連携し、速やかな避難所開設をすることを目標に、積極的な訓練支援を行うとともに呼びかけをしていく。
東京都	葛飾区	葛飾区震災図上訓練	令和5年9月10日	—	—	都心南部を震源とする地震を想定し、災害対策本部運営のための図上訓練を実施することで、災害対応力の強化を図るとともに、地域防災計画や災害対策本部マニュアル（震災編）等の見直しを図るための基礎資料を得る。
東京都	葛飾区	防災シンポジウム	令和5年10月15日	—	葛飾区男女平等推進センター 多目的ホール	関東大震災から100年という節目を機に、基調講演やパネルディスカッションを行うことで、参加者に自助・共助の意識醸成のきっかけとなるシンポジウムを実施する予定。
東京都	江東区	災害に学ぶ防災クイズラリー	令和5年8月19日	令和5年9月3日	亀戸図書館	児童書架に関東大震災から学べる防災を中心に防災に関連したクイズを貼り出し、クイズを解きながら図書館を巡るクイズラリー。
東京都	江東区	児童展示「災害に備えよう」	令和5年8月19日	令和5年9月30日	亀戸図書館	児童に防災に対する関心をもってもらうために、児童資料の中から防災に関連する資料を展示、貸出をおこなう。
東京都	江東区	一般展示「震災と防災」	令和5年8月19日	令和5年9月30日	亀戸図書館	関東大震災を中心に災害や防災に関連する資料展示・貸出をおこなう。また図書館で所蔵する大正・昭和期の江東区の地図を使用した震災と江東区の間接関係を知ることができる展示をおこなう。

東京都	江東区	関東大震災100年折念企画展示～資料で振り返る震災～	令和5年8月19日	令和5年9月14日	深川図書館内3階エントランスホール	関東大震災から100年の歴史を伝えるため、震災の記録資料、震災をテーマにした図書、震災の被害を描いた絵画や写真、江戸時代の絵巻パネルなどを展示。同時期に清澄庭園において、深川図書館所蔵の関東大震災を描いた大正期の版画や写真などのパネルを展示。
東京都	江東区	マンション防災セミナー	令和5年9月2日	—	—	関東大震災から100年にあたり、マンションの防災力強化のため、セミナーを開催。
東京都	江東区	文化財講演会 「関東大震災と住民たち」	令和5年11月22日	—	江東区教育センター1階大研修室	関東大震災当時では、区の西部（深川区）がほぼ全焼し、火災を免れた東部（城東区）に多くの被災者が避難。当時の地区住民が置かれた状況と災害に立ち向かった様子・地域の歴史を紹介。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	小名木川リバーツアー～隅田川橋梁群 夜景巡り～	令和4年12月4日	—	東大島文化センター	河川から江東区を見る船上体験事業。案内はリバーガイド認定者が実施。リバーガイドは、水辺環境や地域の歴史、魅力、防災意識等について理解していただく役割を担い、江東区への愛着を深める一翼を担っている。2023年度は関東大震災から100年の節目を迎える。これに先立ち、2022年度は以前実施し人気のあった夜景と歴史を楽しむコースに隅田川に架かる震災復興橋梁の解説も含めて実施。震災復興事業として架橋された清洲橋、永代橋、相生橋をはじめ震災復興橋梁の意義や、最新の橋梁照明を味わう。参加実績：29名
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	企画展示「震災と江東～絵葉書で見る関東大震災」	令和5年7月26日	令和5年11月5日	中川船番所資料館	江東区教育委員会・文化観光課文化財係が発行している『絵葉書で見る江東百景 震災復興～関東大震災～』の内容をもとに構成した企画展示を実施。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	関東大震災から100年企画展「関東大震災からの復興」	令和5年8月16日	令和5年8月26日	総合区民センター	江東区在住のプロの写真家・鷹野晃氏が撮影した現在の東京の街並の写真と関東大震災前・直後の写真をパネル展示し、災害対策の一助とする。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	関東大震災から100年企画展「次のその日」に備えて復興小公園を造る	令和5年8月29日	令和5年9月6日	総合区民センター	関東大震災の教訓から、惨禍を小さくするため、東京市が復興小公園を開設、旧深川区内に今も引き継がれる七つの小公園について紹介展示。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	防災関連 常設展示ミニ企画展「俳句・文学にみる震災」	令和5年9月26日	令和5年12月3日	芭蕉記念館	関東大震災から100年にあたり、震災と俳句に関するミニ展示を開催。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	防災関連 俳句関連講演会「災害と俳句 波郷から何を学ぶか」	令和5年10月1日	—	砂町文化センター	はこべら俳句大会のPRも兼ねて実施する、俳人・西村麒麟氏による俳句講演会。関東大震災から100年にあたり「災害と俳句」をテーマに実施。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	関東大震災100年ミニ展示「『安政見聞録』でみる江戸地震秘話」	令和5年10月12日	令和5年10月22日	深川江戸資料館	関東大震災から100年にあたり、震災に関するミニ展示を開催。江戸時代に発行された『安政見聞録』から、甚大な被害を出した安政江戸地震のようすや災害に直面した庶民のエピソードを紹介。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	関東大震災から100年展「震災の記憶～小津、映画、文学そして大正という時代」	令和5年11月1日	令和5年11月19日	古石場文化センター	「震災の記憶 ～小津、映画、文学そして江東 大正という時代」展を開催。深川東京モダン館企画展「深川復興～関東大震災100年」展と同時開催で連携。11月10日は講演会を開催。
東京都	江東区 ※（公財）江東区文化コミュニティ財団	防災関連 石田波郷記念館展示ロビー事業「関東大震災と俳句」	令和5年11月7日	令和5年11月30日	砂町文化センター	例年、波郷忌にあわせて展示。関東大震災から100年にあたり「関東大震災と俳句」をテーマに実施。館蔵資料も公開。

東京都	品川区	しながわ防災学校一般向けコース「語り部～過去の地震災害の経験から学ぶ～」	令和5年8月27日	—	品川区役所第三庁舎6階講堂	東日本大震災で被災したお二人から「地域での発災直後の応急活動」と「地域での避難生活」という2つの視点でお話いただく。
東京都	品川区	未来へのいっぽ～関東大震災100年しながわ防災体験館特別ラリー～	令和5年9月1日	令和5年10月1日	しながわ防災体験館（品川区役所第二庁舎2階）	関東大震災や現在の区の防災対策に関するパネル展示を行い、スタンプラリー形式で指定したコンテンツを体験いただいた来場者に啓発品の配布を実施。
東京都	新宿区	「関東大震災100年パネル展」	令和5年8月24日	令和5年9月1日	新宿区役所本庁舎	関東大震災から100年を迎えるにあたり、当震災をはじめとした災害時の写真や資料のパネル展示を実施。また、令和5年9月1日には起震車による揺れ体験を実施。
東京都	新宿区	図書展示「災害に備える」	令和5年9月1日	令和5年10月15日	新宿区立中央図書館	関東大震災から100年。さまざまな震災の記録のほか、巨大地震だけでなく、風水害や電力不足などに備える資料を展示。
東京都	新宿区 ※（公財）新宿未来創造財団、新宿区立新宿歴史博物館	所蔵資料展「震災からモダン都市・新宿へ」	令和5年7月1日	令和5年9月3日	新宿区立新宿歴史博物館企画展示室	関東大震災において、現・新宿区地域の被害はあまりなく、東京の西部にある新宿はその後大きく発達した。博物館所蔵の大震災関連、その後の復興のようすを表した資料を紹介。
東京都	杉並区	関東大震災100年事業 ”災害を知る・災害に備える”	令和5年9月4日	令和5年9月5日	区役所広場、会議室	関東大震災の発災時を振り返ることで、日頃の備えの重要性を伝え、区民の防災意識の更なる高揚を図る。
東京都	杉並区	令和5年度杉並区総合震災訓練	令和5年11月11日	—	区立下高井戸おおぞら公園	防災に関する広報・展示・体験コーナー、関係機関連携訓練を実施。
東京都	墨田区	墨田区防災フェア	令和5年8月26日	令和5年9月3日	庁舎含む区内数か所	パネル展示や起震車の運行を実施。
東京都	墨田区	企画展「関東大震災100年-本所の被害と復旧、残されたもの-」	令和5年8月19日	令和5年10月22日	すみだ郷土文化資料館	区内の関連施設と連携し、震災関連資料を展示。
東京都	世田谷区	第1回世田谷区いっせい防災訓練（シェイクアウト訓練）	令和5年9月1日	—	区内の各家庭、学校、職場等訓練時に参加者がいる場所	関東大震災をはじめとした大規模震災を忘れないようにするため、必ずいつかは来る地震に備え、地震発生時にいち早く身を守る行動がとれるようにすることを目的とし訓点を実施。
東京都	台東区	朝倉彫塑館常設展示「朝倉文夫と関東大震災」	令和5年6月3日	令和5年9月3日	朝倉彫塑館	彫刻家、朝倉文夫が経験した関東大震災を見つめ直すため、関東大震災に関する所蔵品や資料を展示。
東京都	台東区	中央図書館郷土・資料調査室	令和5年6月16日	令和5年9月18日	台東区生涯学習センター内中央図書館	関東大震災とその復興の軌跡について、中央図書館で所蔵している資料を用いて企画展を実施。
東京都	台東区	関東大震災100年事業パネル展	令和5年8月23日	令和5年9月21日	谷中防災コミュニティセンター、台東区生涯学習センター、台東区役所庁舎1階ロビー	本庁舎、生涯学習センター、谷中防災コミュニティセンター及び浅草文化観光センターにおいて、パネル展を実施。
東京都	台東区	震災遺構見学・防災体験ツアー	令和5年8月26日	—	台東1丁目区民館・柳北公園ほか	小学校高学年を対象に、復興小学校や復興公園を巡るとともに、区備蓄倉庫の見学、非常食体験、防災講話等を実施。
東京都	台東区	防災フェスタ	令和5年9月2日	令和5年9月3日	台東区生涯学習センター	ミレニアムホールで、たいとう親子ぼうさいステージ、おとあそび避難訓練コンサート、都市復興シンポジウムを開催するとともに、センター1階ホールで展示等により防災意識の啓発を図る。
東京都	台東区	都市復興模擬訓練	令和5年11月	令和6年1月	谷中防災コミュニティセンター	地域住民が復興事業について理解を深められるよう、復興模擬訓練を実施（関東大震災における復興事業について取り上げる。）。実施日は、令和5年11月11日、22日、12月12日、令和6年1月22日。

東京都	千代田区	防災週間展示	令和5年8月30日	令和5年9月5日	千代田区役所1階「区民ホール」	防災週間に合わせ普及啓発事業として備蓄物資や資機材の展示を、消防署等と連携し実施。展示の中で関東大震災から100年コーナーとしてパネルを展示。合わせて、地震体験車の体験乗車を実施。
東京都	千代田区	関東大震災100年「首都東京の復興ものがたり」	令和5年9月1日	令和5年11月26日	千代田区立日比谷図書文化館	震災に直面した実況を知るとともに、人々が何を考え、どのように新たな暮らしを目指したのか。まちの景観を中心に取り上げてみる。
東京都	練馬区	防災企画展	令和5年9月3日	—	練馬区立防災学習センター	関東大震災のパネル展示や想定される首都直下地震のパネル展示等を通じて、地震災害への備えを促す。
東京都	練馬区	防災フェスタ	令和5年9月3日	—	光が丘第一中学校	区民の防災意識・防災力の向上を図ることを目的として実施する。体験コーナー・広報ブース・車両展示・デモンストレーション・避難拠点活動紹介等を行う。
東京都	練馬区	ねりま防災カレッジ事業	令和5年9月3日	—	練馬区立防災学習センター	防災講演会。
東京都	文京区	関東大震災100年 夏休み防災フェスタ	令和5年8月18日	令和5年8月19日	文京シビックセンター（小ホール、地下2階区民ひろば等）	防災に関する有識者を招いての講演会のほか関東大震災に関連したパネル展示や防災用品の展示等を実施。
東京都	港区	〈災害女性学〉という構想～想像力から「自分ごと」として災害を捉えなおす～	令和5年9月1日	—	港区立男女平等参画センター	〈災害女性学〉は、災害時に直面する問題を女性や多様性の視点から見直し解決方法を模索する、新しく構想された学問。「想像力から自分ごとへ」。被災時に全ての人が主体性をもって活動するために必要な理論を、〈災害女性学〉は提供してくれる。災害大国である日本。本講座をとおして、災害についていかに「自分ごと」として向き合うべきか、一緒に考える。
東京都	港区	港区・関東大震災100年継承プロジェクト	令和5年9月2日	—	みなとパーク芝浦内 港区立男女平等参画センター 港区スポーツセンターサブアリーナ みなとパーク芝浦ロビー 港区立芝浦公園	関東大震災から100年を契機として、9月2日に、著名な防災インストラクターによる講演会、多数の事業者・自治体による防災ブース出展、子どもが楽しめる防災スポーツイベントを1つにまとめたプロジェクトを実施し、幅広い年代の区民に対して自助意識の向上を呼びかける。
東京都	昭島市	「関東大震災から100年」特別企画展示	令和5年8月30日	令和5年9月5日	市役所1階市民ロビー	関東大震災を中心に東日本大震災など近年発生した大地震の写真及び説明資料の展示、立川断層帯地震発生時の市内の被害想定の説明展示、災害への備えに関する資料及び備蓄品等の展示。
東京都	昭島市	防災講話	令和5年9月2日	—	アキシマエンシス	関東大震災に関するDVD「ノブさんからのメッセージ」の上映、講演会「地震から学び地震に備える」、「みんなで作る地区防災計画について」。
東京都	狛江市	令和5年度第1回狛江市防災カレッジ「～関東大震災から100年～ 避難所開設体験から学ぶ防災対策」	令和5年9月4日	—	狛江市防災センター3階会議室	関東大震災から100年であることを契機とし、過去の災害での避難所開設経験を踏まえた体験談をお話いただき、避難所へ避難する際の心構え、避難所開設のための備え等、市民に災害への対策を啓発。
東京都	国分寺市	防災フェスタ	令和5年9月24日	—	都立武蔵国分寺公園	市民体験型訓練を中心とした、楽しみながら防災意識を醸成するイベント。
東京都	調布市	調布市総合防災訓練・防災フェア	令和5年11月11日	—	調布市役所前庭広場ほか	関東大震災から100年の節目の年であることから、例年実施している総合防災訓練・防災フェアについて、その規模を拡大して実施。
東京都	西東京市	関東大震災ならびに防災に関する資料の展示	令和5年6月1日	令和5年6月30日	柳沢公民館	関東大震災100年にあたって、当時の資料やその他の防災情報に関する展示を1ヶ月間実施。

東京都	西東京市	関東大震災と東京	令和5年6月18日	—	柳沢公民館	今年は、大正12年9月1日に起こった関東大震災から100年になる。東京を東から西へたどり、西東京市はどうだったのかを伝える。残された文章を読み解くことによってやがて来ると首都直下型地震に備える知恵を学ぶ。
東京都	西東京市	総合防災訓練	令和5年10月29日	—	文理台公園	市民参加型の総合防災訓練を通じ、改めて防火・初期消火の大切さを伝える。また、関東大震災100年展示ブースを設け、過去の災害を通して、地震災害への備えを促す。
東京都	東大和市	令和5年度東大和市総合防災訓練	令和5年10月15日	—	東大和市立第一中学校	市民参加型訓練、防災関係機関広報ブース、炊き出し訓練、総合演習等の例年実施している訓練に加え、関東大震災100年特別展示として防災救急協会作成「ノブさんからのメッセージ」の上映を行う。※雨天のため中止扱いとし、関係者のみで実施。
東京都	府中市 ※府中消防署	消防防災チャレンジ2023	令和5年9月1日	令和5年9月3日	市内中心市街地	市民の防災意識の向上を図るため、展示等の各種イベントを実施。
東京都	福生市	令和5年度福生市総合防災訓練	令和5年10月15日	令和5年10月15日	福生市立福生第五小学校 (メイン会場)、その他会場については調整中	関東大震災から100年の節目を迎える本年、首都直下地震を想定災害とした総合防災訓練を実施する。各会場において、避難所開設、シェイクアウト、初期消火等の市民参加型訓練を実施。※雨のため、屋内でできるもののみ実施。
東京都	三鷹市	関東大震災から100年 あの日の三鷹とこれからの備え	令和5年9月25日	令和5年9月28日	三鷹市役所本庁舎1階ホール	関東大震災当時の三鷹の様子と、首都直下地震への備えについての展示。 (協力：NHK、NPO法人Mitakaみんなの防災)
東京都	武蔵野市	はらっぱ防災フェスタむさしの2023	令和5年8月26日	—	武蔵野中央公園	関東大震災100年特設パネル展示。
東京都	奥多摩町	関東大震災100年 奥多摩町防災学習セミナー	令和5年9月3日	—	奥多摩町福祉会館	「東京都防災学習セミナー」事業を活用し、9月3日実施予定の第46回奥多摩町総合防災訓練終了後、地域防災の担い手(自治会役員・消防団員など)を対象とし、震災発生時の地域防災に関するセミナーを開催。※対象者を限定し、一般参加募集は行わない。
東京都	小笠原村	防災訓練	令和5年9月1日	—	—	津波を想定し、避難訓練を実施。
神奈川県	神奈川県	特別展「関東大震災 原点は 100 年前」	令和5年7月29日	令和5年9月18日	県立歴史博物館	関東大震災発災から100年の節目を迎えるにあたり、その被害や復興の過程、現在に至る防災の取組に主眼を置いた展示を、関東大震災をくぐり抜けてきた生き証人である旧横浜正金銀行本店(現・神奈川県立歴史博物館)において紹介。
神奈川県	神奈川県	箱根ジオパークにおける自然災害伝承碑の取組	令和5年8月16日	令和5年9月15日	生命の星・地球博物館	自然災害伝承碑は、災害の記憶を地域に残すものとして重要視されている。このミニ展示では大正関東地震から100年を契機に、箱根ジオパークエリアにおける自然災害伝承碑の活用に関する取り組みを紹介。
神奈川県	神奈川県	関東大震災から100年 かながわ消防防災フェア	令和5年9月2日	令和5年9月3日	神奈川県庁本庁舎周辺	関東大震災復興のシンボル・神奈川県庁本庁舎を活用し、幅広い世代が参加可能なイベントを開催し、県民の地震防災の意識啓発を図る。
神奈川県	神奈川県	かながわ防災フェア2023	令和5年9月10日	—	神奈川県総合防災センター	・企業等による防災に関する各種展示、実演、相談、ノベルティ等配布 ・消防用車両の展示、試乗、記念撮影 ・消防学校による出展

神奈川県	神奈川県	展示「関東大震災 100 年 神奈川県の被害と復興」	令和5年6月9日	令和5年12月13日	県立図書館	関東大震災100年に合わせ、県内における被害の様子や復興のあゆみを振り返ることを目的とし、当館所蔵資料および、神奈川県立歴史博物館より貸借する資料から神奈川県内の被害状況や復興の変遷等まつわる資料や写真等を紹介する。
神奈川県	厚木市	ミニ展示「100年前の大地震とあつぎ」	令和5年7月29日	令和5年10月29日	厚木郷土博物館	博物館及び教育委員会が所蔵する資料の中から、関東大震災における厚木市内の被害状況を示す資料を紹介し、防災について考えるきっかけとなる展示を実施する。
神奈川県	伊勢原市	令和5年度風水害対策訓練（防災講話）	令和5年5月28日	—	伊勢原市立大山小学校	関東大震災後に発生した大山山津波の記録写真の展示をはじめ、市域における大震災被害を伝承し、市民の防災意識の醸成を図る。
神奈川県	伊勢原市	大山山津波の記録展示	令和5年6月中	—	市庁舎入口	防災講話の中で、関東大震災後に発生した大山山津波の記録を振り返るとともに、土砂災害の前兆現象等を学ぶ。
神奈川県	海老名市	海老名市温故館資料展「震災の記憶 ～関東大地震から100年～」	令和5年7月28日	令和5年10月1日	海老名市温故館2階	海老名市域での被害や復興について、文書や写真、記念碑からたどる。海老名市域でどのような被害があったのか、多くの方に知ってもらい、過去の災害を後世に伝える一つの機会とする。
神奈川県	小田原市	小田原市 関東大震災100年事業	令和5年7月22日	令和5年9月3日	小田原市生涯学習センター	【小田原市 関東大震災100年事業】として7/22、8/26、9/3に防災講演会を実施。7/22は本年2月に神奈川県より照会のあった防災意識向上プロジェクトによる語り部に、8/26には、小田原市生涯学習センターけやきにて、外部講師を招いて講演会を開催。9/3は、歴史地震研究会、神奈川県と共催で、小田原三の丸ホールにて講演会を開催。その他、期間中は市内出先施設において、パネル等の展示を実施。
神奈川県	鎌倉市	津波対策訓練	令和5年11月5日	—	由比ヶ浜海岸及び各沿岸	鎌倉市の沿岸域に最大クラスの津波が来襲したことを想定し、市民及び海浜利用者等が津波から避難するため、実際に避難行動を行い、津波来襲時緊急避難建築物等へ避難した。由比ヶ浜海岸沖では、神奈川県と共催し、警察、自衛隊、海上保安庁、救済会等と合同で要救助者の救出訓練等を実施するとともに、同海岸では関東大震災100年展示ブース、各事業所による展示ブース等を設置し、地震災害による被害の軽減を周知した。
神奈川県	相模原市	関東大震災に関する展示	令和5年7月3日	令和5年12月22日	相模原市役所、公文書館ほか市内施設	本市の関東大震災発生当時に関する公文書や、同様の地震が発生した場合の被害想定等に関する展示を実施。
神奈川県	相模原市	橋本図書館 ロビーブチ展示「防災 もしもに備えよう」	令和5年8月11日	令和5年9月13日	相模原市立橋本図書館	防災をテーマにした本の展示を実施。
神奈川県	相模原市	第44回九都県市合同防災訓練（兼令和5年度相模原市総合防災訓練）	令和5年9月1日	—	相模総合補給廠一部返還地及び相模原スポーツ・レクリエーションパーク	九都県市では、首都圏に大きな被害をもたらすことが懸念される地震を想定し、住民や防災関係機関と連携・協力して毎年訓練を実施している。今回の訓練では会場内で関東大震災に関するパネル展示等を実施。
神奈川県	相模原市	ミニ展示「関東大震災と相模原」	令和5年9月16日 (10月11日～10月20日は閉室)	令和5年11月30日	相模原市立博物館	関東大震災による相模原市内での影響と防災に関わる資料を紹介。
神奈川県	茅ヶ崎市	東日本大震災12年・関東大震災100年「おしゃれとサステナブル」が「命」を守る！	令和5年3月4日	—	コワーキングスペース チガラボ（茅ヶ崎市新栄町13-48 ワラシナビル5階）	茅ヶ崎市まなびの市民講師の自主企画講座として開催。 概要：東日本大震災12年、関東大震災100年の節目に茅ヶ崎市市民講師同士の初コラボイベントを開催。茅ヶ崎、北海道、陸前高田をオンラインでつなぐ広域イベント。

神奈川県	茅ヶ崎市	茅ヶ崎の関東大震災	令和5年4月29日	令和5年9月24日	茅ヶ崎ゆかりの人物館・多目的館	茅ヶ崎ゆかりの人物館で市民研究員として活動している「ゆかりラボ」メンバーの調査研究成果の発表としての展示。100年前の関東大震災で起きたこと、「茅ヶ崎のあの日、あの時」を知る展示。
神奈川県	茅ヶ崎市	親子で防災つるみね	令和5年8月19日	—	鶴嶺公民館	災害発生時、家族がみんな一緒にいるとは限りません。“もしも”の時に備えて、親子で防災についてじっくり考えてみませんか？
神奈川県	茅ヶ崎市	関東大震災から100年～教訓を継承し、迫り来る大災害に活かす～	令和5年8月8日	—	体験学習センター	関東大震災に関する講義、起震車体験、屋上までの避難体験、かんたん手作り防災グッズ作りを通じて巨大地震や日頃の備えについての理解を深める。
神奈川県	茅ヶ崎市	パネル展「関東大震災100年一写真とことばで知る茅ヶ崎の関東大震災」	令和5年8月29日	令和5年10月31日	茅ヶ崎市博物館	関東大震災当時の状況や茅ヶ崎の被害を、「写真」や当時の「ことば」とおとしてパネルで紹介。
神奈川県	茅ヶ崎市	ちがさき備えるフェア	令和5年8月30日	令和5年9月10日	市内協力店舗	防災用品を販売する店舗情報の周知により、市民の防災意識向上を図る。
神奈川県	秦野市	はだの歴史博物館企画展「震生湖、保存と活用の歩み」	令和5年7月15日	令和5年9月24日	はだの歴史博物館 第2企画展示室	震生湖の誕生となった地形変化、地元の人々による命名と活用、寺田寅彦の来訪、観光地としての整備など、これまでの保存と活用の歩みを写真や文献でたどる。
神奈川県	秦野市	はだの歴史博物館企画展「関東大震災、その時秦野では。」	令和5年8月5日	令和5年10月14日	はだの歴史博物館 第2企画展示室	関東大震災から100年という節目にちなんで、その時秦野で起こった出来事や、その後の様子などを写真や文献から紹介。
神奈川県	秦野市	令和5年度第4回はだの生涯学習講座	令和5年8月19日	—	本町公民館 多目的ホール	防災士を講師に迎え、被災したときに役立つアイデアを知り、身近なものでできる工夫を楽しみながら減災・防災の知識を親子で身につけることができる講演を実施。
神奈川県	秦野市	震生湖誕生100周年記念式典	令和5年9月2日	—	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）小ホール	関東大震災で誕生した国登録記念物である震生湖についての式典や文化庁から招いた講師による講演、市内小学校児童による震生湖学習の成果発表を実施。
神奈川県	秦野市	秦野市総合防災訓練	令和5年9月3日	—	秦野市立東中学校（中央会場）及び各広域避難場所中央会場	秦野市立東中学校（中央会場）及び各広域避難場所。中央会場に、関東大震災のブースを設け、体験記等の資料配布をし啓発。
神奈川県	平塚市	防災さんぽ	令和5年6月4日	—	集合（平塚タマ三郎漁港）／解散（長楽寺）	「防災さんぽ」を実施し、関東大震災の被害を伝える災害伝承碑をはじめとする災害スポットをめぐり、楽しみながら防災について学ぶ。
神奈川県	平塚市	第22回地震火山地質こどもサマースクール	令和5年8月17日	令和5年8月18日	—	子どもたちと専門家が一緒に、野外観察や実験を実施。
神奈川県	平塚市	平塚市総合防災訓練	令和5年8月19日	—	平塚のはらっぱ	関東大震災100年記念事業として、過去の災害の教訓を踏まえた実践型訓練を行う「地震対応訓練」と市民参加体験型の防災啓発イベント「防災フェア」を実施し、自助・共助・公助の連携を強化すると共に、市民の防災・減災への意識の高揚を図り、災害に強いまち平塚の実現のため開催。
神奈川県	平塚市	大正関東地震と平塚の地盤	令和5年8月31日	令和5年10月15日	平塚市博物館	大正関東地震による平塚とその周辺での被害の様子をふりかえるとともに、平塚の地盤の成り立ちと災害リスクについて紹介。
神奈川県	平塚市	地震体験車乗車体験会	令和5年9月1日	—	JR平塚駅北口駅前広場	関東大震災100年の節目を迎え、新しい地震体験車を使用して地震に対する備えの重要性を広く市民に認識してもらうため、地震体験車の乗車体験会を実施。

神奈川県	藤沢市	藤沢市総合防災訓練	令和5年9月2日	—	藤沢市消防防災訓練センター	関東大震災から100年の節目の年にあたり、いま一度、大規模災害への備えを新たに、防災協定等の有効性について検証を行うとともに、初動体制の確立と防災関係機関との連携を図る。
神奈川県	藤沢市	藤沢市津波対策訓練	令和5年11月5日	—	藤沢市沿岸3地区（片瀬・鶴沼・辻堂）・湘南港・災害対策本部（本庁舎）、鎌倉市由比ヶ浜付近	関東大震災同様の相模トラフを震源域とする大規模地震発生を想定し、市民及び海浜利用者等が津波から避難するため、実際に避難行動を行い、同時に災害対策本部を設置し、避難や被害等の情報収集を迅速に行う。また今年度は神奈川県、鎌倉市の合同訓練に共催として参加し、同時刻に防災想定としている。
神奈川県	南足柄市	防災パネルの展示	令和5年8月28日	—	市役所アトリウム 南足柄市立図書館	関東大震災発災当時のパネルを展示し、防災意識の向上を図る。
神奈川県	南足柄市	南足柄市総合防災訓練	令和5年9月3日	—	市内各所指定避難所等	自治会による安否確認訓練、情報伝達訓練等を実施。南足柄中学校体育館において、市職員による避難所開設訓練を実施。
神奈川県	三浦市	三浦市総合防災訓練	令和5年11月3日	—	三浦市立三崎小学校	関東大震災時の三浦市内の被災状況の写真をパネル展示。
神奈川県	大和市	関東大震災100年「オンライン版大和市防災フェスタ」ザ・リモート～地震編～	令和5年9月3日	—	オンライン開催	関東大震災100年をきっかけに、「Zoom」を活用して、「リモート型防災アクション」を実施。イベント参加者が謎解きスタイルで楽しみながら地震防災に関する知識等をより効果的に習得することができるオンラインコンテンツとなっている。
神奈川県	横須賀市	関東大震災100年～横須賀の地震に備えて	令和5年7月29日	令和5年9月10日	横須賀市自然・人文博物館	関東大震災、近年の地震災害、地震のメカニズム、三浦半島の活断層などをパネル展示。
神奈川県	横須賀市	関東大震災と横須賀	令和5年8月25日	令和5年9月27日	横須賀市中央図書館	関東大震災当時の史料により、横須賀市内の被災状況や被災下の市民の暮らしなどを展示。
神奈川県	横須賀市	関東大震災100年 ・市民向け特別講座 ・子育て世代防災講座	・令和5年8月30日 ・令和5年9月2日	—	横須賀市生涯学習センター	関東大震災100年を契機と捉えて、市民並びに子育て世代を対象とした特別講座を開催。
神奈川県	横須賀市	市総合防災訓練・関東大震災特設パネル展	令和5年10月29日	—	浦賀港（総合防災訓練特設会場）	大規模災害を想定した防災訓練と併せパネル展示を実施。
神奈川県	横須賀市	関東大震災100年～横須賀の地震に備えて	令和5年11月8日	令和6年2月6日	各行政センター	関東大震災、近年の地震災害、地震のメカニズム、三浦半島の活断層などをパネル展示。
神奈川県	横浜市	横浜防災フェア2023	令和5年9月2日	令和5年9月3日	赤レンガ倉庫	株式会社アール・エフ・ラジオ日本との共催により、例年開催している防災啓発イベント。防災関連機関・民間企業とともに自助・共助の重要性について啓発。
神奈川県	愛川町	防災のつどい	令和5年9月23日	—	愛川町文化会館	気象災害と防災対策に関する講座を行うことにより、防災に関する意識の高揚を図る。
神奈川県	大磯町	大磯町郷土資料館 ミニ企画展 大磯の災害-関東大震災から100年-	令和5年8月2日	令和5年10月31日	大磯町郷土資料館	関東大震災に関するポスター及び防災啓発に関する展示等。
神奈川県	開成町	防災講演会	令和5年10月29日	—	開成町福祉会館	関東大震災100年の節目に、災害に備えて自助、共助を学び、自主防災組織の強化を図る。

神奈川県	二宮町	防災展示	令和5年8月30日	令和5年9月6日	町立図書館、二宮町庁舎	町立図書館及び二宮町庁舎内に関東大震災の被害写真や防災用品、防災情報、書籍を展示するブースを設け、町民向けの啓発活動を実施。
神奈川県	二宮町	二宮町総合防災訓練	令和5年9月3日	—	二宮町立体育館	大規模地震発生を想定し、津波避難訓練、安否確認訓練、避難所運営訓練、ペット同行避難訓練、災害ボランティア運営訓練を実施。
神奈川県	二宮町	湘南にのみやふるさとまつり	令和5年11月19日	—	二宮町生涯学習センター「ラディアン」および周辺	町のイベントに併せて、防災ブースを設けて防災意識の啓発を行うとともに、災害時に簡単にできるレシピの紹介と試食の提供、民間業者協力によりロボットPepperを使った防災クイズを子どもを対象に実施。
神奈川県	大井町	防災パネル（写真展）の展示	令和5年11月16日	令和5年12月3日	大井町生涯学習センター	関東大震災発災当時のパネルを展示し、防災意識の向上を図る。
神奈川県	箱根町 ※箱根町建設業協会	箱根町防災シンポジウム	令和5年9月7日	—	湯本富士屋ホテル・コンベンションホール箱根	関東大震災から100年の節目の年にあたり、災害の教訓を活かし、安全・安心なまちづくりを進めるため、パネル展や講演を実施。
石川県	石川県	防災士スキルアップ研修（テーマ別研修）「過去の大规模地震を振り返って」	令和5年8月27日	—	石川県地場産業振興センター 大ホール	石川県で地震が頻発する中で、関東大震災から100年を迎えた今こそ、過去の大规模地震を学び、教訓とする。
山梨県	山梨県	山梨県県立図書館資料紹介展示	令和5年6月13日	令和5年9月3日	山梨県立図書館	関東大震災を振り返るとともに、過去の災害から学び、正しく備えるための資料を紹介。
静岡県	掛川市	防災研修会	令和5年9月28日	—	生涯学習センター	自主防災会長及び区長を対象にした防災研修会の開催。
和歌山県	和歌山市	災害対策本部訓練	令和5年8月31日	—	和歌山市消防庁舎	地震発生時における、本市の災害対策本部体制及び災害対応の在り方等の検証を行い、本部体制の強化を図る。
和歌山県	和歌山市	情報伝達訓練	令和5年9月1日	—	—	和歌山市内一斉にサイレンによる情報伝達訓練を実施。
和歌山県	和歌山市	避難所運営図上訓練	令和5年9月4日	令和5年9月5日	和歌山市消防庁舎	大規模災害に備え、避難所運営員が初動期における避難所運営をカードゲームで体験し、運営体制の充実強化を図る。
徳島県	徳島県防災人材育成センター	関東大震災100年メモリアルデー	令和5年9月2日	令和5年9月3日	徳島県立防災センター（徳島県板野郡北島町鯛浜字大西165番地）	関東大震災関連のパネル展、東京都制作の関連動画上映、徳島県立図書館所蔵の関連本の展示。
熊本県	熊本県	防災体験デー in熊本県防災センター	令和5年9月1日	—	熊本県防災センター	防災の日に合わせ、日頃の備えに関する意識を高めるため、非常持出品に関するゲームやクロスロード等の内容でワークショップ形式のイベントを実施。
熊本県	荒尾市	あらお防災フェスタ	令和5年9月3日	—	荒尾総合文化センター	広く市民に防災啓発することを目的に、展示や体験コーナーを設け防災に触れていただくとともに合わせて防災コンサートを開催し、コンサート終了後には、避難訓練を実施。

2. 今後の予定

	自治体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
千葉県	船橋市	防災フェアふなばし	令和6年1月20日	—	船橋市市民文化ホール	関東大震災のような、いつ起こるかわからない大規模災害に対して、広く市民が発災時における自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図り、地域防災力の向上を目的として、講演や展示啓発を行う。

	自治体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
東京都	江東区 ※(公財)江東区文化 コミュニティ財団	小名木川リバーツアー キラリキラキラ夜景めぐり…隅田川橋梁群を中 心に	令和5年12月10日	—	東大島文化センター	河川から江東区を見る船上体験事業。案内はリバーガイド認定者が行う。リバーガイドは、水辺環境や地域の歴史、魅力、防災意識等について理解していただく役割を担い、江東区への愛着を深める一翼を担っている。関東大震災から100年の節目を迎えるにあたり、2023年度に実施し人気のあった夜景と歴史を楽しむコースに隅田川に架かる震災復興橋梁の解説も含めたコースを再度実施。震災復興事業として架橋された清洲橋、永代橋、相生橋をはじめ震災復興橋梁の意義や、最新の橋梁照明を味わう。
東京都	品川区	第39回品川区防災フェア	令和6年3月9日	—	しながわ中央公園他	東日本大震災など、過去に起きた災害の教訓を忘れないよう、区民の皆さんの防災意識や防災力を高めることを目的としたイベント。
東京都	世田谷区	関東大震災100年せたがや防災イベント	令和5年12月10日	—	国士館大学世田谷キャンパス 区立若林公園 世田谷区役所第三庁舎前	関東大震災100年の節目となる本年、「在宅避難」への備えなど区民一人ひとりの防災意識の醸成と地域防災力の向上を図ることを目的とし、国士館大学との共催により、災害対策に関するシンポジウムや近隣町会、世田谷消防署等の各関係機関と連携した救急救出訓練、初期消火訓練、各種催しを実施する。
東京都	台東区	上野地区まちづくりビジョンシンポジウム	令和6年2月5日	—	東京国立博物館	歴史背景やビジョンを踏まえたまちの将来イメージを世界に向けて発信するため、基調講演、パネルディスカッションを実施する。
神奈川県	綾瀬市	綾瀬市防災フェア	令和6年1月20日	—	綾瀬市オーエンス文化会館	関東大震災から100年の節目の年にあたり、それに関連した内容の講演会を実施予定。綾瀬市自治会長連絡協議会との共催により、開催する防災啓発イベント。自助・共助の重要性について啓発する。
神奈川県	逗子市	災害写真展	令和6年1月15日	令和6年1月19日	逗子市市民交流センター	災害写真展内において関東大震災発生当時のパネル展示を行う。
神奈川県	平塚市	平塚市防災講演会	令和6年1月13日	—	未定	関東大震災100年記念事業として、「防災とボランティアの日(1月17日)」を踏まえ、この期間に災害時におけるボランティアの活動及び市民の自主的な防災活動を普及・促進するため、また災害への備えの充実・強化を図ることをテーマに、広く市民を対象に開催する。
神奈川県	藤沢市	藤沢市地震災害図上訓練	令和6年1月24日	—	災害対策本部 各指揮本部及び各地区防災 拠点本部	大規模地震発生に備えて、災害対応能力と意思決定能力の向上を図るとともに、災害時職員行動マニュアルの検証を行う。
神奈川県	藤沢市	藤沢市地域防災活動推進大会	令和6年1月27日	—	藤沢市民会館	地域における防災活動の紹介や講師を招いた防災講話を行うことをとおして、市内における防災活動の普及や市民の防災意識の向上を促進することを目的に地区防災団体14団体(市内13地区のうち藤沢地区は東部西部に分かれるため)から構成される藤沢市防災組織連絡協議会との共催により開催する。
神奈川県	南足柄市	市民防災の集い	令和6年1月20日	—	南足柄市文化会館小ホール	関東大震災のメカニズム及び南足柄市の被害の状況、今後の同規模の地震発生時の被害想定等について考える。(募集は、令和5年12月中旬を予定)
神奈川県	大井町	防災講演会	令和5年12月3日	—	大井町生涯学習センター ホール	防災講話。第1部「地震災害に備える」、講師：温泉地学研究所 所長 板寺一洋氏。第2部「その時！災害時に機能する防災組織のヒント」、講師：QQ防災クラブ 防災士 原田 剛氏。
神奈川県	大井町	防災用品展示コーナー	令和5年12月3日	—	大井町生涯学習センター 特設会場	防災講演会に連動し、QQ防災クラブによる防災用品の展示を実施。

	自治体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
神奈川県	大井町	耐震セミナー	令和5年12月3日	—	大井町生涯学習センター 特設会場	神奈川県県土整備局と共催し、木造住宅の耐震診断及び耐震改修を促進する普及啓発を実施予定。
神奈川県	二宮町	二宮町防災講演会	令和6年1月20日	—	二宮町生涯学習センター 「ラディアン」	関連大震災から100年を踏まえて、「関東大震災から100年」その教訓と今後の備えについて」と「災害時における個別避難計画の必要性について」（内閣府個別避難計画作成モデル事業（加速促進事業））を開催する。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（地方公共団体）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

	自治体名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
埼玉県	春日部市	広報かすかべ	令和5年9月1日	関東大震災100周年を受け、特集記事を掲載。
埼玉県	幸手市	広報誌さって	令和5年9月1日	郷土資料館令和5年度企画展、あれから100年 関東大震災と幸手、関東大震災発生当時の記録写真や資料を展示し、この地震がどのような災害で市域にどのような被害をもたらしたかについて紹介。
埼玉県	草加市	広報誌「広報そうか」	令和5年8月20日	広報1面で関東大震災100年に関連した防災啓発を行う。
埼玉県	三郷市	三郷市ホームページ	令和5年8月30日～	関東大震災から100年の節目を契機に、過去の震災を振り返り、今後の災害に備える防災啓発を行う。
埼玉県	三郷市	広報みさと9月号	令和5年9月15日	関東大震災から100年の節目を契機に、過去の震災を振り返り、今後の災害に備える防災啓発を行う。
埼玉県	小川町	町広報紙「広報おがわ」9月号	令和5年9月1日	関東大震災から100年の節目を迎え、自分で、家族で、地域で、私たちにできることを改めて考えてもらうための問いかけとして情報発信する。
千葉県	鴨川市	関東大震災特設ページ開設	令和5年7月20日～	特設ページ。
千葉県	鴨川市	広報誌「広報かもがわ」	令和5年9月1日	過去の災害に学び次の100年につなげるため、「過去を学び、未来に繋げる」ことをテーマに、市民に対し意識付けを行う。
千葉県	館山市	市広報誌	令和5年9月	令和5年9月号にて特集の掲載。
千葉県	銚子市	広報誌「広報ちょうし」	令和5年9月1日	令和5年9月号にて特集の掲載。
千葉県	船橋市	広報ふなばし	令和5年9月1日	令和5年9月号にて特集の掲載。
千葉県	市川市	広報「いちかわ」	令和5年4月～令和6年3月	年間を通して防災に関する啓発記事「防災三助（ぼうさいさんじょ）」を毎月第1週号に掲載。（実績：4/1号, 5/6号, 6/3号, 7/1号, 8/5号, 9/2号, 10/7号, 11/4号）
東京都	東京都	関東大震災からの復興に関する復興まちづくり動画、復興デジタルアーカイブ作成	令和5年7月21日～	関東大震災から100年の節目を捉えて、震災復興をPRする動画とデジタルアーカイブで、震災被害・復興から現在の防災都市づくりの取組等を都民に分かりやすく発信。

東京都	東京都	広報誌「広報東京都」 8月号	令和5年8月1日	都の災害対策について幅広い視点で紹介。また今期行われる災害関連イベントなども情報も掲載。
東京都	足立区	足立区ホームページ	令和5年8月23日～	区民の防災意識を高めるため、関東大震災当時の千住の被害の様子を記録した「大震災千住写真帖」を、特集ページで全ページ分を公開。
東京都	足立区	あだち広報 令和5年8月25日号	令和5年8月25日	関東大震災から100年にあたり、震災について学び、これからの対策・備えについて考える。
東京都	荒川区	広報誌「あらかわ区報」	令和5年9月1日	令和5年9月1日号に特集を掲載。
東京都	大田区	広報誌「おおた区報」	令和5年9月1日	令和4年5月に東京都が公表した被害想定で、大田区が該当する都心南部直下地震での区の被害想定を周知。また、今後、震災への対策を着実に進めていくことで防災・減災効果があることを周知し、区民の行動変容を促す。
東京都	葛飾区	広報かつしか	令和5年8月25日	首都直下地震の被害想定の見直し、避難行動フロー、避難情報収集、家具転倒防止器具・感震ブレーカー補助、家具配置の工夫について解説。
東京都	葛飾区	広報かつしか	令和5年9月	関東大震災発生から100年という節目を機に実施する防災シンポジウムについて案内を実施。
東京都	北区	広報紙「北区ニュース」	令和5年9月1日	防災について啓発を実施。
東京都	江東区	「下町文化」(季刊誌)第300号～第304号	令和5年1月～令和6年1月	令和5年(2023)は、大正12年(1923)9月1日に起こった関東大震災より数えて百年となる。現在の江東区においても、甚大な被害を蒙った。震災後1世紀を経た節目に、現存する歴史資料(文化財等:被害状況、復興建造物等)を提示しながら、現段階での調査・研究の到達点を示し、後世にその記録を残していくことを目的として実施。
東京都	江東区	GATVの区政情報番組「江東ワイドスクエア」	令和5年8月27日～9月2日	関東大震災から100年の節目を迎えるにあたり、当時の区内の被害状況などを振り返りながら、区内に起きた変化や防災の取り組みを紹介し、改めて区民の防災意識の向上を図ることを目的として特集を放送。
東京都	江東区	こうとう区報にて特集号を発行	令和5年9月1日	関東大震災から100年の節目を迎えるにあたり、備蓄物資や情報取得手段、地震時・水害時の避難行動を紹介し、改めて区民の防災意識の向上を図ることを目的として発行。
東京都	品川区	関東大震災特設ページ開設	令和5年8月下旬～	品川区ホームページ内に、本企画の統一ページを作成し、関東大震災に関する資料の掲載や、各企画の周知広報を実施。
東京都	品川区	ケーブルテレビ品川の特別番組の制作「関東大震災から100年 未来への防災のいっぽ～ジージョクんと品川区の防災を見に行こう!～」	令和5年9月放送	ケーブルテレビ品川と協力して特別番組を制作する。関東大震災を振り返り、現在の防災対策の説明、将来の防災を考える、という構成で自助と共助を中心とした内容を放送。

東京都	新宿区	広報新宿	令和5年8月25日	関東大震災から100年にあたり、区の防災対策支援事業を掲載した広報紙を発行。
東京都	杉並区	広報誌「広報すぎなみ」	令和5年8月1日	9月4日、5日に開催されるイベントの周知。【内容】パネル展示、防災講演会、防災備蓄品紹介など。
東京都	杉並区		令和5年9月1日	【関東大震災100周年特集記事】震災救援所の取り組みや区の防災活動について紹介。
東京都	世田谷区	広報誌「区のおしらせせたがや」	令和5年9月1日	関東大震災の被害状況を伝え、自助・共助の大切さを改めて呼びかける。
東京都	台東区	台東区ホームページ	令和5年7月20日～	イベントのほか、関東大震災関連の情報提供を実施。
東京都	台東区	広報たいとう	令和5年8月20日	関東大震災100年を切り口に、防災意識を高める特集ページを作成する。
東京都	千代田区	広報「千代田」	令和5年8月5日	関東大震災と関東大震災後の復興建築の紹介、加えて災害対策情報を掲載することにより、区民の防災意識を向上させる特集を実施。
東京都	千代田区	震災100周年企画 動画制作	令和5年10月20日	震災前の街並みから、どのようにして復興し、今の街並みができていったのかを動画制作。
東京都	練馬区	練馬区報 防災特集ページ	令和5年9月1日	9月は防災月間であるため、防災について啓発を実施。
東京都	狛江市	機関紙「安心安全通信」	令和5年9月1日	防災・防犯・消防に関する機関誌として年に3回程度発行している安心安全通信について、令和5年度は関東大震災100年という節目に当たることから、特集号として通常より誌面を増やし、震災への備えを中心とした啓発記事を掲載。
東京都	調布市	市報	令和5年8月20日	関東大震災から100年の節目の年であることから、市報に防災特集を掲載。
東京都	八王子市	広報「はちおうじ」9/1号	令和5年9月1日	関東大震災から100年にあたり、震災について学び、これからの対策について考える。
東京都	府中市	自主防災ふちゅう	令和5年7月11日	関東大震災の甚大な被害状況を掲載することで、災害を風化させないとともに、市民の今後の地震対策の促進を図る。
東京都	府中市	広報ふちゅう	令和5年9月1日	関東大震災発生から100年ということで、市が配布している防災ハンドブックの紹介等、日頃からの備えを呼びかける内容とした。
東京都	福生市	安全安心まちづくりだより	令和5年3月20日	関東大震災の教訓から、家具の転倒防止、住宅の耐震化、地震火災の防止等、基本的な震災対策について啓発記事を掲載（第16号）。
東京都	三鷹市	広報紙「広報みたか」	令和5年8月20日	関東大震災当時の三鷹に関するエピソードやパネル展示の告知、NPO法人「Mitakaみんなの防災」会員による地震への備えの紹介などの記事を掲載。
東京都	小笠原村	村民だより	令和5年8月21日	防災特集号を発行。

神奈川県	綾瀬市	「広報あやせ9月号特集」にて特集の掲載	令和5年9月1日	関東大震災100年を機に、市民の地震災害への備えについて啓発する。地震発生のメカニズムと想定される地震の紹介・地震災害への備え（公助、共助、自助、それぞれの視点から）。
神奈川県	小田原市	広報誌「広報小田原」にて特集を掲載	令和5年8月1日	小田原市在住の関東大震災に関する語り部の方へのインタビュー記事や、関東大震災100年事業の概要、令和5年1月に県により示された富士山火山防災マップについて掲載。
神奈川県	川崎市	タブロイド紙「号外 備えるかわさき。」	令和5年8月	対談内容をもとに本市の防災啓発の方向性等を検討し、主に「災害イメージネーション」と「フェーズフリー」の観点から、市民の皆さまに備えについて考えていただく機会となるような内容に編集した広報紙を8月中に全戸配布。
神奈川県	川崎市	「関東大震災100年 特別対談」ホームページ	令和5年9月1日～	「関東大震災100年 特別対談」ページ（公開中）にて、市長と東京大学目黒公郎教授との特別対談の動画配信を開始。
神奈川県	平塚市	広報誌「広報ひらつか」にて特集の掲載	令和5年9月1日	特集を掲載。
神奈川県	南足柄市	広報誌「みなみあしがら」にて特集の掲載	令和5年8月1日	令和5年8月1日号にて防災関連の記事を掲載。
神奈川県	大磯町	広報おおいそ	令和5年8月25日	郷土資料館情報として、ミニ企画展「大磯の災害-関東大震災から100年-」（関東大震災に関するポスター展）の開催中（～10月31日）を案内。
神奈川県	山北町	広報誌「やまきた」	令和5年7月	関東大震災100年の機会を捉え、「関東大震災から100年」の記事を掲載して、地域の特性を踏まえた防災意識の高揚を図る。
神奈川県	山北町	山北町ホームページ	令和5年8月8日～	関東大震災の概要や、関東大震災100年事業の紹介、町内にある関東大震災について記された記念碑を紹介。
山梨県	中央市	「広報ちゅうおう」にて掲載	令和5年9月1日	関東大震災の概要と併せて、家具転倒防止・避難場所や避難経路の確認・災害備蓄について紹介。
山梨県	都留市	広報誌「広報つる」9月号	令和5年9月	過去の災害から学びがあることについて、市内の被害状況の写真と合わせて周知。
山梨県	山梨市	広報「やまなし」9月号	令和5年8月23日	防災の特集記事において掲載。
愛媛県	愛媛県	「愛媛（えがお）のえひめ」9月号	令和5年9月3日	関東大震災から100年を契機に、風水害・地震災害から自分の命は自分で守る「自助」の意識向上について呼びかける。（本紙特集枠）
大分県	中津市	広報誌「市報なかつ」	令和5年9月1日	関東大震災から100年を迎える9月1日「防災の日」に、地震への備えに係る記事を掲載し、市民の防災意識の向上を図る。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（地方公共団体）

令和5年11月30日現在

【事業等】

1. 実施済み及び実施中

自治体名	事業名	実施時期	概要
千葉県 千葉市	市政出前講座	令和5年6月1日～ 令和6年3月29日	市の職員が市民の集会・会合などに出向き、施策や制度などを説明・質疑応答することで、市政への理解を深めていただき、参加と協働によるまちづくりを推進することを目的としている。防災分野がテーマの場合、関東大震災100年を契機に、関東大震災の振り返りをしながら、災害対応について講義を実施。※防災分野以外のテーマ有り
東京都 東京都	復興小公園の再生	令和5年度～	関東大震災による帝都復興計画に基づき、東京市が復興小学校に隣接して整備した復興小公園について、関東大震災100年を契機に、当時の思想などを踏まえ、関係区による再生を後押しする。
東京都 東京都	民間団体等が開催する防災まちづくり普及啓発イベントの支援	令和5年4月1日～ 令和5年12月31日	関東大震災100年を契機に、大規模災害（震災や水害など）発生後の復興まちづくりを迅速かつ円滑に実施できるよう、都内の民間団体等が開催する都市の事前復興等に関する普及啓発のためのセミナーやワークショップ、模擬体験等のイベントを支援する。
東京都 江東区	防災カタログギフト区内全世帯へ配付	令和5年度	関東大震災から100年という節目に合わせ、防災力の底上げ、防災啓発の促進のため、令和5年4月1日時点で区に住民票がある世帯を対象に、備蓄物資など防災商品に特化した5千円相当のカタログギフトを全世帯に配付する。
東京都 江東区	災害情報臨時放送ブースの設置	令和5年度	災害発生時、災害対策本部で決定した防災情報は正確かつ迅速に区民に伝達することを目的として、災害対策本部室のある防災センター4階に臨時のラジオ放送ブースを設置する。
東京都 江東区	公園維持管理事業	令和5年度	震災復興当時に設置された震災復興公園に説明版を設置する。
東京都 江東区	震災復興橋梁整備事業	令和5年度	震災復興当時に架設され、現在に残る橋梁を対象に、過去の記録などの内容を記載した説明版を設置する。
東京都 台東区	たいとう関東大震災100年事業	令和5年7月～	関東大震災の記憶や教訓の継承、首都直下地震への備えを促進するための意識啓発など、全庁をあげて積極的に事業を実施。

東京都	台東区	スタンドパイプ・給水栓	令和5年度	全町会でスタンドパイプ・給水栓セットが使用可能となるよう、すでに所有している町会を除き、希望する町会に配備する。
東京都	台東区	防災コミュニティ構築事業	令和5年度	令和4年度台東区協働事業提案制度採択事業（防災視点での地域活動）の中で、関東大震災の教訓等を取り上げ、訓練等を実施する。
東京都	台東区	関東大震災学習リーフレット	令和5年9月1日	保護者と家庭等で学習ができる、復興小学校、復興公園、石碑等を紹介したリーフレットを作成し、区内の小・中学校等に配布。

以上

2. 今後の予定

	自治体名	事業名	実施時期	概要
東京都	台東区	震災復興公園説明板	令和5年12月	区内にある震災復興公園16カ所に、公園の成り立ちや当時の資料を紹介する看板を設置する。（各1基、隅田公園のみ2基）区内にある震災復興公園（大公園1箇所、小公園15箇所）の成り立ちや所在地を掲載したパンフレットを作成し、関連事業等で配布する。
神奈川県	藤沢市	起震車更新プロジェクト	令和5年度～	実際に発生した地震等を疑似的に再現した揺れによる地震体験を通じて、市民が地震発生時の対応方法を習得するなど、防災意識の向上を図ることを目的に起震車を導入しているが、導入から17年が経過し経年劣化が著しいことから更新プロジェクトを進めている。また、関東大震災から100年の節目であることを踏まえ、これまで以上に発災時の危険性や恐ろしさを学べるコンテンツ（最新のデジタル技術であるVR機能と揺れを連動）としており、より多くの方に体感・体験してもらうことで、さらなる市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上促進につなげる。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（防災推進国民会議構成団体）

令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

	団体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
学術界	日本学術会議	第15回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」 (共催:防災学術連携体)	令和5年4月11日	—	オンライン開催	—
		「関東大震災 100 年シンポジウム」 (共催:防災学術連携体)	令和5年7月8日	—	日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）	4つのテーマに分け、パネルディスカッション。 (1) 地震・地震工学 (2) 都市の地震防災、災害後の復興・まちづくり (3) 災害時対応（医療・生活）(4) 災害と情報・社会
		防災推進国民大会2023 セッション、日本学術会議学術シンポジウム、第17回防災学術連携シンポジウム「防災科学から見た関東大震災の回顧と展望」 （共催：防災学術連携体）	令和5年9月17日	—	オンライン開催	関東大震災から100年目を迎える契機に、防災科学の視点から関東大震災を振り返り、過去から現在を精査し、未来への展望について議論。特に本年7月8日開催の学術フォーラム「関東大震災100年と防災減災科学」での知見を整理し、地震・地震動、都市計画、災害医療、情報・社会の観点で学協会の枠を超えた情報共有を実施。
	防災学術連携体	第15回防災学術連携シンポジウム「気候変動がもたらす災害対策・防災研究の新展開」 (共催:日本学術会議)	令和5年4月11日	—	オンライン開催	—
		「関東大震災 100 年シンポジウム」 (共催：日本学術会議)	令和5年7月8日	—	日本学術会議講堂（ハイブリッド開催）	4つのテーマに分け、パネルディスカッション。 (1) 地震・地震工学 (2) 都市の地震防災、災害後の復興・まちづくり (3) 災害時対応（医療・生活）(4) 災害と情報・社会
		防災推進国民大会2023 セッション、日本学術会議学術シンポジウム、第17回防災学術連携シンポジウム「防災科学から見た関東大震災の回顧と展望」 （共催：日本学術会議）	令和5年9月17日	—	オンライン開催	関東大震災から100年目を迎える契機に、防災科学の視点から関東大震災を振り返り、過去から現在を精査し、未来への展望について議論。特に本年7月8日開催の学術フォーラム「関東大震災100年と防災減災科学」での知見を整理し、地震・地震動、都市計画、災害医療、情報・社会の観点で学協会の枠を超えた情報共有を実施。
メディア	日本放送協会	アナウンサーの呼びかけ	随時	—	—	NHKと民放6局のアナウンサーによる呼びかけ。
		「シリーズ関東大震災100年」放送	令和5年1月22日～	—	テレビ番組「明日をまもるナビ」	令和5年1月22日（日）から4回シリーズ「明日をまもるナビ」で関東大震災100年を特集。
		もしもフェス	令和5年9月2日	令和5年9月3日	代々木公園	関東大震災の番組の映像を大画面で見せたり、アーカイブスのサイトをタッチモニターで触れたりするブース出展。
		ぼうさいこくたい	令和5年9月17日	令和5年9月18日	横浜国立大学	関東大震災の番組の映像を大画面で見せたり、アーカイブスのサイトをタッチモニターで触れたりするブース出展。

メディア	日本新聞協会	企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災100年―」	令和5年8月26日	令和5年12月24日	ニュースパーク（日本新聞博物館）	関東大震災における新聞社の被災状況や記者が被災地で見たもの・経験したこと、横浜・神奈川がどのように伝えられたのかを、当時の紙面や写真で振り返る。災害時に広がる流言・デマも紹介し、不確かな情報にどう対処するかを考える機会にするほか、関東大震災前後の震災、新聞社の防災・減災の取り組みも取り上げる。
		企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災100年―」関連シンポジウム「関東大震災100年をどう伝えたか」	令和5年11月26日	—	ニュースパーク（日本新聞博物館）	今年100年を迎えた関東大震災を伝えるにあたり特に意識したことや工夫・難しさ、当時混乱の中で広がった流言・デマや殺傷事件を報じる上で心掛けたこと、今後の地震災害報道の課題や展望について、関連報道に携わった新聞各社の担当者が話し合う。
医療	日本医師会	日本医師会シンポジウム「関東大震災発災から100年～未来に生かされるべき教訓～」	令和5年9月1日	—	本会公式YouTubeチャンネル及び特設サイト上でのオンライン配信。また朝日新聞の9月1日号において採録を掲載	災害大国と言われるわが国では、いつまた大きな災害が起きるか分からない状況にある。関東大震災の発災から100年になる今年、国民に対して改めて日頃からの備えを呼び掛けるとともに、日本医師会の果たす役割について知ってもらうことを目的として開催。
その他	日本赤十字社	災害救護セミナー	令和5年2月18日	—	オンライン開催	日本赤十字看護大学附属災害救護研究所による主催。
その他	日本赤十字社	企画展「関東大震災100年 温故備震～ふるきをたずね明日に備える～」	令和5年4月4日	令和6年3月28日	赤十字情報プラザ（日本赤十字社本社1階）	赤十字情報プラザ（日本赤十字社本社1階）にて開催（赤十字WEBミュージアムでも同名の特別企画を公開）。※赤十字情報プラザは令和6年1月4日から2月12日まで一時休館
		関東大震災100年から100年にかかるパネル展示	令和5年5月1日	令和5年5月31日	東京都内4献血ルーム（新宿東口献血ルーム、有楽町献血ルーム、献血ルームfeel、akiba:F献血ルーム）	100年前の関東大震災を振り返り、備えにつなげることを目的としたパネル展示を実施。
	日本生活協同組合連合会 ※「関東大震災100年事業 賀川豊彦とボランティア」実行委員会	関東大震災100年事業 賀川豊彦とボランティア 関連企画	令和5年8月	令和6年3月	日本基督教団銀座協会5Fぶどう	関東大震災時に、協同組合の父と言われる賀川豊彦が果たした役割に関連した記念行事。パネル展、書籍出版、シンポジウム開催など。

2. 今後の予定

	自治体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
メディア	日本新聞協会	企画展「そのとき新聞は、記者は、情報は―関東大震災100年―」関連シンポジウム「来るべき災害をどう伝えるか」	令和5年12月17日	—	ニュースパーク（日本新聞博物館）	首都直下地震や南海トラフ巨大地震などの想定される地震や災害について、メディアは日頃どのような情報発信を心掛け、一方でどのような課題があり、何を求められるか。新聞社、放送社、ネット企業の担当者、地域防災に携わる専門家が、それぞれの取り組みを紹介しながら話し合う。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（防災推進国民会議構成団体）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

	団体名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
学術界	防災学術連携体	1923年関東地震100年企画 冊子発行	令和5年7月8日	防災学術連携体の62学協会による冊子（各学協会 A4 版2頁程度）。
メディア	日本放送協会	NHK放送文化研究所ホームページ	令和5年3月20日～	NHK放送文化研究所の災害関連のコンテンツを集め、災害とメディアのあり方を考えるページ。
		災害列島 命を守る情報サイト	令和5年5月25日～	関東大震災発生直後に作られた古地図をもとに、同じ場所で生きる現代の私たちが必要な対策について考えるページ。
		関東大震災特設ページ「特集 地図で見る関東大震災の写真と動画」	令和5年6月上旬～	NHKのアーカイブスから見つかった関東大震災当時の写真を地図上で公開する特設ページ。
医療	日本医師会	関東大震災特設ページ開設	令和5年9月1日～	本会で実施予定のシンポジウム動画、関東大震災に深くかかわった都道府県医師会や日本医師会において現在取り組んでいる災害対策の取組みなどについて紹介。
女性団体	全国女性団体連絡協議会	広報誌「全国女性団体連絡協議会」	令和5年9月15日	今年は、1923年に発生した関東大震災から100年の節目に当たり、発生日である9月1日は、「防災の日」と定められている。普段からそれぞれに地域で、防災について考え、災害に備える機会とすることを呼びかけ。
			令和5年11月15日	小池東京都知事と櫻井全女会会長が対談を実施。東京都における、災害に関する現在の取り組み並びに今後の防災対策について、意見を交換した内容を掲載。
その他	日本赤十字社	関東大震災から100年	令和5年5月1日～ 令和6年3月31日	関東大震災の被災経験を活かし、今日発災が予想されている首都直下地震や南海トラフ巨大地震から身の安全を守る方法について考える。
		広報紙「NT」36号～39号	令和5年1月・4月・ 7月・10月	36号から39号まで「関東大震災から100年の防災」と題した防災チェックリストを連載。また38号と39号にわたって、当時の被害状況や救護活動の様子を振り返り、教訓に学び備える特集記事を掲載。

その他	日本生活協同組合 連合会	『生協運営資料』9月号	令和5年9月1日	『生協運営資料』は、生協の役職員を対象に年6回発行している定期刊行誌。本年9月号では、関東大震災から100年を迎えるにあたり、東日本大震災以降、生協においても特に大きな課題として位置付けられるようになってきているリスクマネジメントやBCPについてを特集。
	日本生活協同組合 連合会 ※「関東大震災100年 事業 賀川豊彦とボラ ンティア」実行委員会	関東大震災100年事業 賀川豊彦とボランティア 関連企画	令和5年8月～ 令和6年3月	関東大震災時に、協同組合の父と言われる賀川豊彦が果たした役割に関連した記念行事。パネル展、書籍出版、シンポジウム開催など。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（関係学協会）

※防災学術連携体調べ
令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

学協会名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
日本安全教育学会	学校の安全・危機管理セミナー・Tokyo Meeting2023	令和5年7月31日	—	国立オリンピック記念青少年総合センター	関東大震災から100年を経過し、現在の防災教育の問題点と災害伝承など今後の課題に迫る。
日本火災学会	日本火災学会 講演討論会「関東大震災と、以後100年間の火災科学 将来の都市型複合災害に向けた課題を抽出する」	令和5年1月20日	—	—	—
日本建築学会	関東大震災100年シンポジウム	令和5年9月1日	—	—	—
日本建築学会	2023年度日本建築学会大会（近畿）都市計画部門パネルディスカッション「次の災害対策・復興を実現するには 一新・復興とは」	令和5年9月12日	—	オンライン	不確実性の高い大規模災害後に、21世紀型のまちづくりを実現しながら復興を進めるためにはどのような事前の想定・準備が必要か？関東大震災からの100年を振り返りつつ、次の100年に資する「新」復興像を議論。
日本建築学会	2023年度日本建築学会大会（近畿）災害部門研究協議会「関東大震災の記録を振り返る／トルコ・シリア地震緊急調査報告」	令和5年9月13日	—	京都大学	関東大震災から100年が経過した。これを契機に改めて当時の資料、記録を調査することで100年前の状況を振り返り、当時を追体験できるような機会を提供し、将来の地震被害調査について考えるきっかけを提供。
日本建築学会	2023年度日本建築学会大会（近畿）構造部門研究協議会「関東大震災から100年—過去を振り返り、先達に聞き、学び、そして将来を展望する」	令和5年9月14日	—	京都大学	—
日本建築学会	2023年度日本建築学会大会（近畿）海洋建築部門研究協議会「関東地震津波の隠された教訓」	令和5年9月14日	—	京都大学	関東大震災の特徴は甚大な人的被害を出した地震後の火災であり、相対的に津波被害への関心は低かった。その関東地震津波の隠された教訓を、東日本大震災大津波の記憶と南海トラフ地震津波への備えを念頭に読み取る。
日本建築学会	2023年度日本建築学会大会（近畿）記念シンポジウム「京都の文化財と災害—関東大震災からの学び—」	令和5年9月14日	—	京都大学	関東大震災では地震の揺れ、火災により大きな被害が発生し文化財の被害も発生した。京都が地震に見舞われると、文化財にも大きな被害が発生することが予想される。多くの文化財が存在する京都で関東大震災から100年という節目となる年に、文化財の防災対策について総合的な視点から考える。
日本災害復興学会	関西学院大学災害復興制度研究所2023年復興・減災フォーラム「関東大震災100年われわれに遺したも～帝都復興と人間の復興」	令和5年1月7日	令和5年1月8日	関西学院大学レセプションホール（ハイブリッド開催）	主催：関西学院大学災害復興制度研究所 共催：日本災害復興学会 後援：朝日新聞社

日本地震工学会	第13回震災予防講演会（第27回震災対策技術展・横浜にて開催）	令和5年2月3日	—	—	テーマ：「関東大震災から学ぶ地域防災の過去、現在、未来」 講師：武村雅之氏（名古屋大学減災連携研究センター特任教授）
日本地震工学会	一般公開セミナー「関東大震災から100年 一過去を学び、将来に備える」	令和5年11月3日	—	はまぎんホール ヴィアマール	主催：公益社団法人日本地震学会・公益社団法人日本地震工学会
日本地震工学会	第16回日本地震工学シンポジウム 「関東大震災から100年を経て、今後100年の地震工学を考える～過去に学び、複合化する激甚災害に備えた持続可能な社会を目指して～」	令和5年11月23日	令和5年11月25日	パシフィコ横浜ノース	共催：日本地震工学会、地域安全学会、地盤工学会、土木学会、日本活断層学会、日本機械学会、日本建築学会、日本災害情報学会、日本災害復興学会、日本地震学会、日本自然災害学会、日本都市計画学会
日本地球惑星科学連合	パブリックセッション「関東大震災100年。社会の進化は次の災害を乗り越えられるか」	令和5年5月21日	—	千葉市幕張メッセ（ハイブリッド開催）	—
日本地質学会	第22回地震火山地質子どもサマースクール	令和5年8月17日	令和5年8月18日	神奈川県平塚市	主催：第22回地震火山地質子どもサマースクール実行委員会 (公益社団法人日本地震学会 / 特定非営利活動法人日本火山学会 / 一般社団法人日本地質学会 / ひらつか防災まちづくりの会)
日本地理学会	日本地理学会春季大会公開シンポジウム「関東大震災から百年：あらためて何を学び「地理総合」でいかに教えるか」	令和5年3月25日	—	東京都立大学	—
地震・火山噴火予知研究協議会	関東地震100年国際シンポジウム	令和5年10月23日	令和5年10月24日	東京大学武田先端知ビル内 5階 武田ホール（オンライン中継あり）	共催：東京大学地震研究所

※ 今後も順次、追加予定

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（関係学協会）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

団体名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
地盤工学会	地盤工学会災害調査論文報告集「関東地震100年に際して当時の地盤災害を振り返る」	令和5年8月	—

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（指定公共機関）

令和5年11月30日現在

【行事等】

1. 実施済み及び実施中

団体名	イベント名	実施時期 (開始日)	実施時期 (終了日)	実施場所	概要
防災科学技術研究所	シンポジウム「強震観測を考えるー過去100年に学び今後100年に期待することー」	令和5年9月6日	—	東京国際フォーラム ホールD5	強震観測開始から70年及び関東地震から100年に際し、今後の強震観測に関して考える場としてシンポジウムを開催。
	筑波会議2023 スペシャルセッション「壊滅的災害への備えと対応」	令和5年9月28日	—	つくば国際会議場 102	関東大震災100年の節目に、今後、発生が予想される壊滅的災害への備えと対応につき、防災分野や関連する科学技術分野で活躍する国内外の若手研究者7名が登壇し、自身の研究や業務と防災への貢献について発表し、パネルディスカッション、質疑応答を実施。
東京ガスネットワーク	震災復興100年「同潤会アパートが創った昭和モダンライフ」展	令和5年7月15日	令和5年9月18日	ガスミュージアム ガス灯館2階 ギャラリー	関東大震災の復興のため設立された同潤会が創り出した鉄筋コンクリート造の「同潤会アパート」について。建設当時の同潤会アパートに住む人々のモダンな暮らしの空間と風景を、当館収蔵の当時の写真や、実際の建物で使われていたガス機器などの貴重な設備の遺構とともに紹介。
ヤマト運輸株式会社	関東大震災100年 防災週間の取り組み「過去の大规模震災を振り返り、社員・家族の防災意識を高める」	令和5年8月30日	令和5年9月5日	事業所等	防災訓練（事業所周辺の危険箇所・避難場所の確認、全社員を対象とした安否報告訓練、災害発生を想定した全事業所の被災状況報告訓練）の実施。
イオン株式会社	今こそ考えよう防災＋備蓄	令和5年8月26日	—	イオンモール津田沼	本年が関東大震災から100年の節目を迎えるにあたり、内閣府とイオンとの防災啓発のコラボレーション事業として、関係省庁・行政など産官学民が一体となり活動することで「防災・減災」「安全・安心」を地域のお客さまへ認知していただく事を目的として開催。
	ぼうさいこくたい2023セッション「災害への備え」はじめませんか？内閣府と賛同企業による「災害への備え」に向けたパネルディスカッションを開催！	令和5年9月18日	—	横浜国立大学	ぼうさいこくたい2023で内閣府（防災担当）「災害への備え」コラボレーション事業 事務局主催のパネルディスカッションに参加し、住民の防災意識の向上及び企業活動における自助・共助を促す防災普及の意義についてディスカッションを実施。

以上

関東大震災100年関連行事等調べ（報告）
（指定公共機関）

令和5年11月30日現在

【広報誌等】

1. 実施済み及び実施中

団体名	掲載する広報誌・ホームページ名	掲載時期	概要
日本銀行	日本銀行ホームページ：「関東大震災から100年、日銀の業務継続体制の今昔。」の公表について	令和5年9月13日	関東大震災の被害や当時の日本銀行の対応などについて整理するとともに、この間の業務の変化等を背景に、業務継続体制を充実強化してきたことに関してまとめた。
東日本電信電話株式会社	公式HP「災害への取り組み」	常時掲載	<ul style="list-style-type: none"> ・NTT東日本の災害対策概要 ・災害用伝言ダイヤル（171）のご利用方法など
イオン株式会社	社外広報誌「イオンマガジン」	令和5年8月末	近年、南海トラフや首都直下型地震の発生リスクが高まる一方で、台風や豪雨などの風水害も激甚化。人やインフラが集中する都市に必要な防災や、最新の防災技術、海外での事例などについての有識者や専門家からの話など、関東大震災から100年の節目を迎える本年に、防災への意識を高める一助となる特集。
日本建設業連合会	広報誌「ACe建設業界」（2023年4月号）	令和5年4月中旬	木密解消、水道施設の耐震化といった事例から、数々の災害に向き合ってきた日本ならではの歴史と、そこから生まれた技術力やノウハウを紹介。

以上